

「第五次大玉村総合振興計画後期基本計画」
策定のための
むらづくりアンケート
集計結果報告書

令和7年8月
大玉村

目次

第1編 調査の目的・方法.....	1
第1章 調査の目的.....	1
第2章 配布・回収方法.....	1
第3章 集計結果の見方.....	1
第2編 調査結果.....	2
第1章 回答者の属性.....	2
第2章 村の住みよさについて.....	6
第3章 地域幸福度（Well-Being）指標について.....	12
第4章 震災復興について.....	21
第5章 産業振興について.....	23
第6章 人口対策について.....	25
第7章 都市計画について.....	27
第8章 むらづくり全体について.....	30
第9章 自由意見.....	31
第3編 調査票.....	46

第1編 調査の目的・方法

第1章 調査の目的

「大玉村むらづくりアンケート調査」は、むらづくりに対する村民の満足度や施策ニーズなどを把握し、令和8～12年度を計画期間とする「第五次総合振興計画 後期基本計画」の策定にむけた基礎資料とするために実施しました。

第2章 配布・回収方法

本調査は、16歳以上80歳未満の村民1,000人を対象に、令和7年6～7月に郵送により実施しました。回収率は34.9%でした。

なお、令和2年1～2月に類似の調査（配布2,000人、回収846人、回収率42.3%）を実施しており、主要な設問の回答傾向を比較します。

本調査の配布・回収方法と回収率

対象	16歳以上80歳未満の住民 (無作為抽出)
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	1,000票
回収数	349票
回収率	34.9%

第3章 集計結果の見方

- 集計表は、総計のほか、年齢区分ごとなどのクロス集計を1つの表で掲載しています。
- 設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第1位を四捨五入しているため、その構成比の合計は100%にならないところがあります。
- 本調査での標本誤差（全数調査だった場合と比べて生じる誤差）は、50%という回答で±5.1%、20%という回答で±4.1%と想定します。

〔標本誤差の算式〕

$$b = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数 (6,850) n = 回答者数 (349) P = 回答の比率 k = 定数 (信頼度95%で1.96)

第2編 調査結果

調査結果は、以下の通りです。

第1章 回答者の属性

問1 あなたの性別を回答ください。【○は1つだけ】

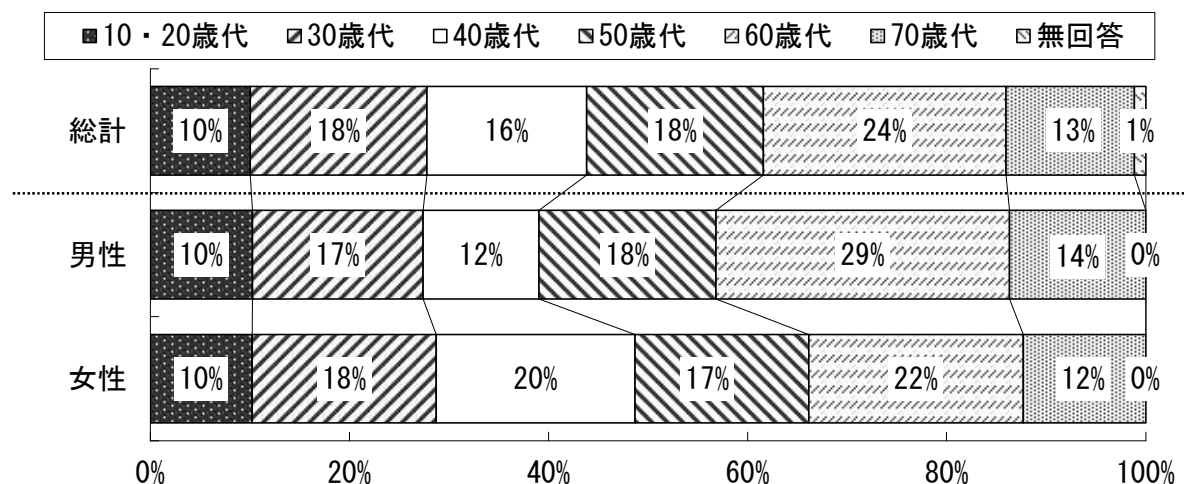
問2 あなたの年齢はどの区分に該当しますか。【○は1つだけ】

回答者の性別、年齢は表の通りです。性別は女性が56%と多く、年齢は、60～69歳が24%と多くなっています。性別は「その他」という選択肢への回答が1件、無回答が7件ありました。

以下の設問では、「10～30歳代」、「40・50歳代」、「60歳以上」の3つの年齢区分で回答傾向を見ます。

	総計		男性		女性		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10・20歳代	35	10%	15	10%	20	10%	0	0%	0	0%
30歳代	62	18%	25	17%	36	18%	1	100%	0	0%
40歳代	56	16%	17	12%	39	20%	0	0%	0	0%
50歳代	62	18%	26	18%	34	17%	0	0%	2	29%
60歳代	85	24%	43	29%	42	22%	0	0%	0	0%
70歳代	45	13%	20	14%	24	12%	0	0%	1	14%
80歳以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	4	1%	0	0%	0	0%	0	0%	4	57%
合計	349	100%	146	100%	195	100%	1	100%	7	100%

	総計		10～30歳代		40・50歳代		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	146	42%	40	41%	43	36%	63	48%
女性	195	56%	56	58%	73	62%	66	51%
その他	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%
無回答	7	2%	0	0%	2	2%	1	1%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%



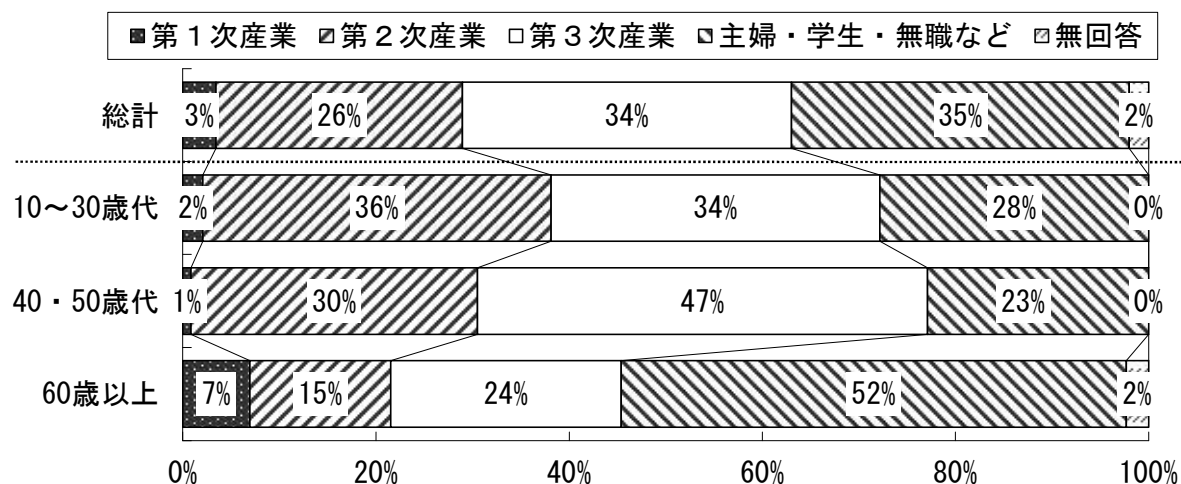
問3 あなたの職業はどれですか。【〇は1つだけ】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林水産業（自営）	11	3%	1	1%	1	1%	9	7%
製造業（自営）	5	1%	1	1%	2	2%	2	2%
建設業（自営）	7	2%	1	1%	5	4%	1	1%
商業・サービス業等（自営）	11	3%	2	2%	3	3%	6	5%
農林水産業（勤め人）	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%
製造業（勤め人）	60	17%	29	30%	23	19%	8	6%
建設業（勤め人）	17	5%	4	4%	5	4%	8	6%
商業・サービス業等（勤め人）	75	21%	18	19%	39	33%	18	14%
公務員・団体職員（勤め人）	33	9%	13	13%	13	11%	7	5%
主婦（パートタイムを含む）	51	15%	11	11%	21	18%	19	15%
無職	53	15%	5	5%	4	3%	44	34%
学生・その他	18	5%	11	11%	2	2%	5	4%
無回答	7	2%	0	0%	0	0%	3	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

〔職業再区分〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第1次産業（農林水産業）	12	3%	2	2%	1	1%	9	7%
第2次産業（製造・建設）	89	26%	35	36%	35	30%	19	15%
第3次産業（商業・サービス・公務員等）	119	34%	33	34%	55	47%	31	24%
主婦・学生・無職など	122	35%	27	28%	27	23%	68	52%
無回答	7	2%	0	0%	0	0%	3	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

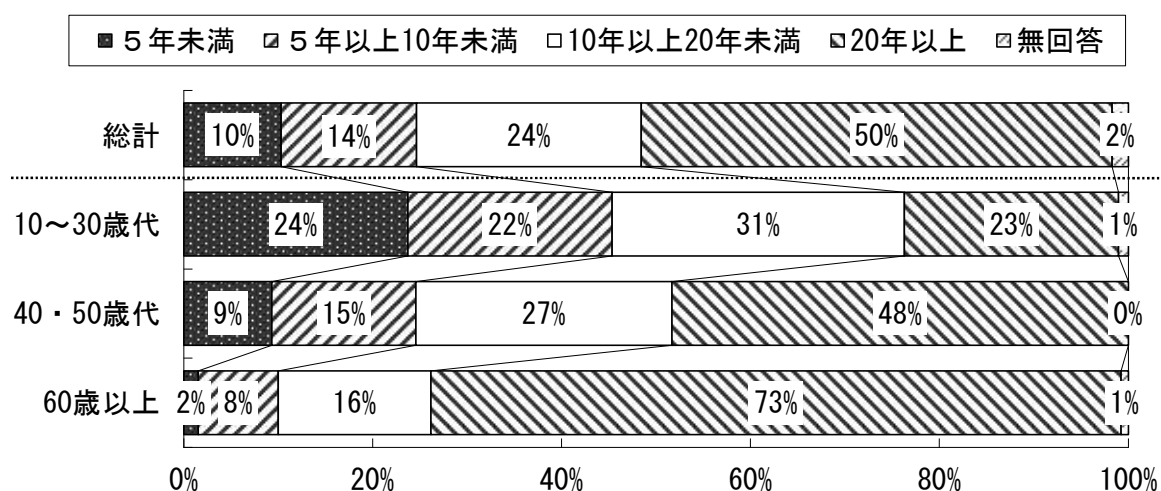
職業は、「主婦（パートタイムを含む）」が19%と多く、次いで「商業・サービス業等（勤め人）」が18%、「製造業（勤め人）」が17%などとなっています。「農林水産業」（第1次産業）は3%とわずかで、60歳以上の層では7%となっています。また、10～30代では第2次産業（「製造業」、「建設業」）が36%と多くっており、都市圏に製造業の工場を多く抱える地域産業の特徴が見てとれます。



問4 あなたは、大玉村に住んで通算何年くらいになりますか。【○は1つだけ】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
5 年未満	36	10%	23	24%	11	9%	2	2%
5 ～14 年	50	14%	21	22%	18	15%	11	8%
15～29 年	83	24%	30	31%	32	27%	21	16%
30 年以上	174	50%	22	23%	57	48%	95	73%
無回答	6	2%	1	1%	0	0%	1	1%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

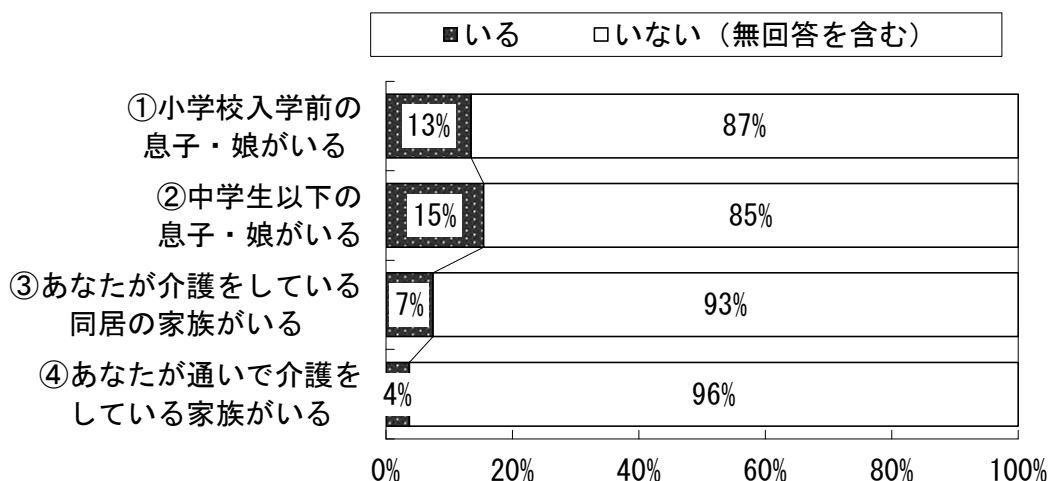
居住年数は、「30 年以上」が5割を占めていますが、10～30 歳代では、「5 年未満」といった比較的最近転入してきた住民も2割以上を占めます。



問5 あなたの家族に次の方がいらっしゃいますか。【〇はいくつでも】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校入学前の息子・娘がいる	47	13%	37	38%	9	8%	1	1%
中学生以下の息子・娘がいる	54	15%	26	27%	28	24%	0	0%
あなたが介護をしている同居の家族がいる	26	7%	3	3%	4	3%	19	15%
あなたが通いで介護をしている家族がいる	13	4%	0	0%	5	4%	8	6%
無回答（いないと回答自身の無回答の両方が含まれる）	235	67%	49	51%	78	66%	104	80%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

家族の状況による施策ニーズの違いをみるために、子どもや要介護者の有無をお聞きしたところ、「①小学校入学前の息子・娘がいる」は13%、「②中学生以下の息子・娘がいる」は15%、「③あなたが介護をしている同居の家族がいる」は7%、「④あなたが通いで介護をしている家族がいる」は4%でした。



第2章 村の住みよさについて

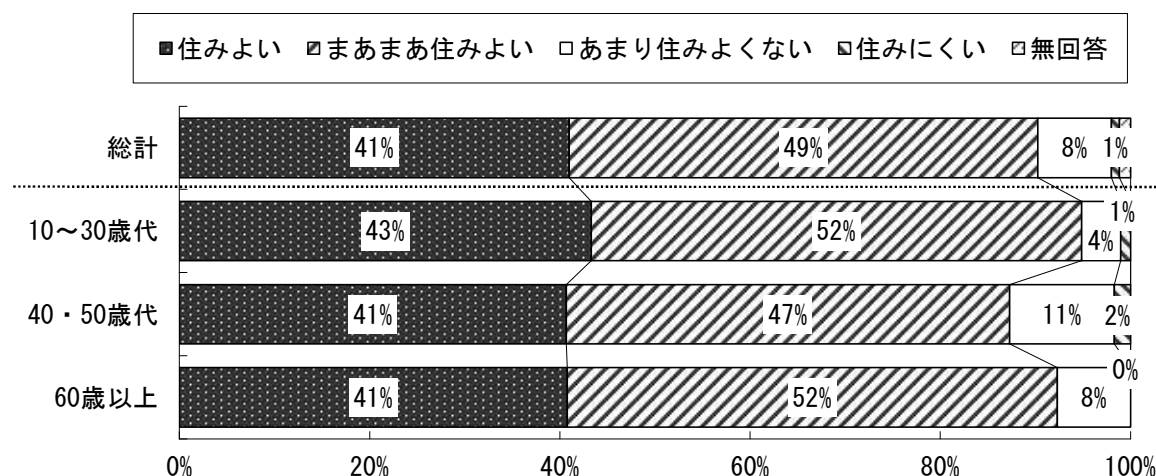
問6 あなたは、大玉村を「住みよい」と感じていますか。【〇は1つだけ】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
住みよい	143	41%	42	43%	48	41%	53	41%
まあまあ住みよい	172	49%	50	52%	55	47%	67	52%
あまり住みよくない	27	8%	4	4%	13	11%	10	8%
住みにくい	3	1%	1	1%	2	2%	0	0%
無回答	4	1%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

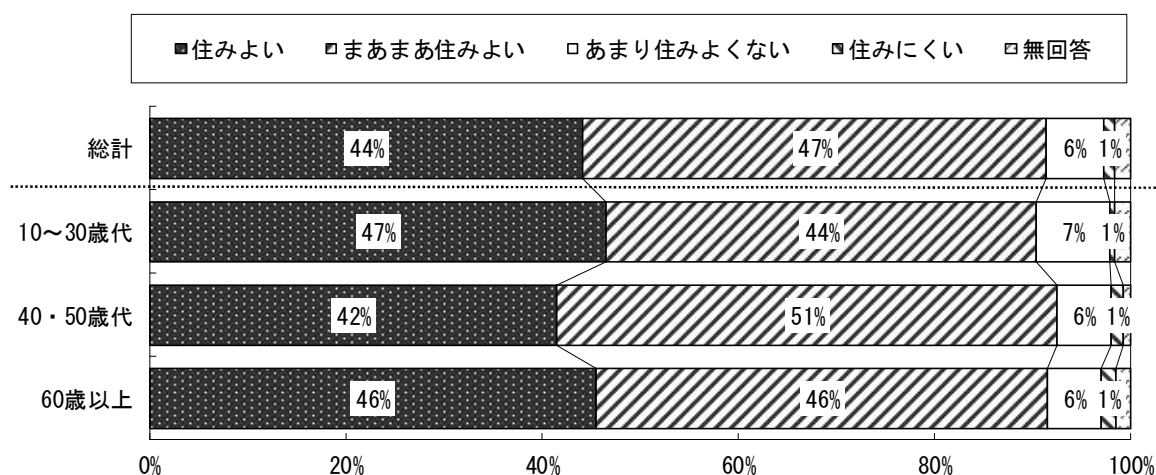
村の住み良さを4段階の尺度でお聞きしたところ、回答者全体では、「住みよい」が41%、「まあまあ住みよい」が49%で、9割強の方が住みよいと感じています。

令和2年調査と比較すると、大きな差はありませんが、「40・50歳代」で「あまり住みよくない」の割合がやや上昇しています。

【令和7年調査】



【令和2年調査】



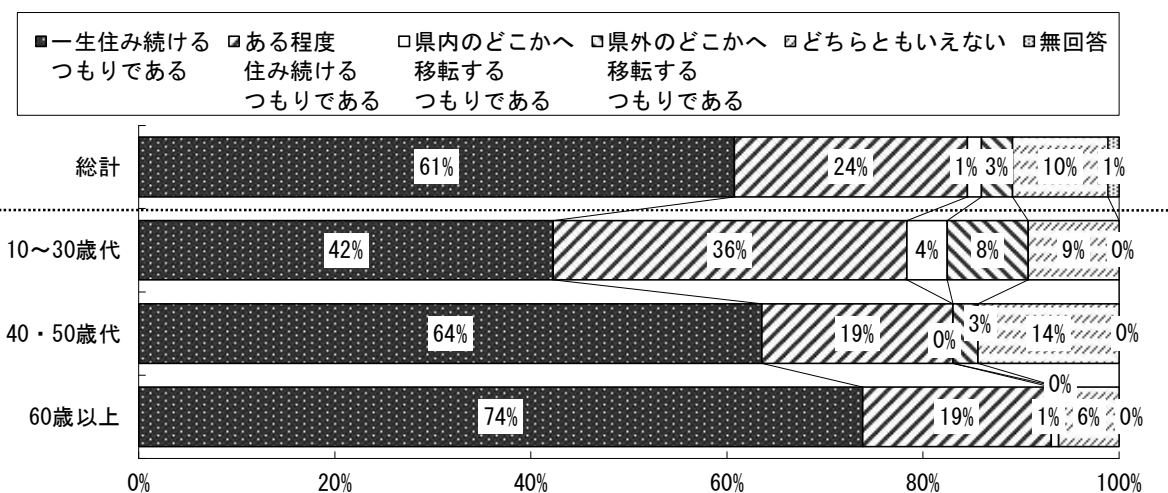
問7 あなたは、今後も大玉村に住み続けたいとお考えですか。次の中から選んでください。【〇は1つだけ】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
一生住み続けるつもりである	212	61%	41	42%	75	64%	96	74%
ある程度住み続けるつもりである	83	24%	35	36%	23	19%	25	19%
県内のどこかへ移転するつもりである	5	1%	4	4%	0	0%	1	1%
県外のどこかへ移転するつもりである	11	3%	8	8%	3	3%	0	0%
どちらともいえない	34	10%	9	9%	17	14%	8	6%
無回答	4	1%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

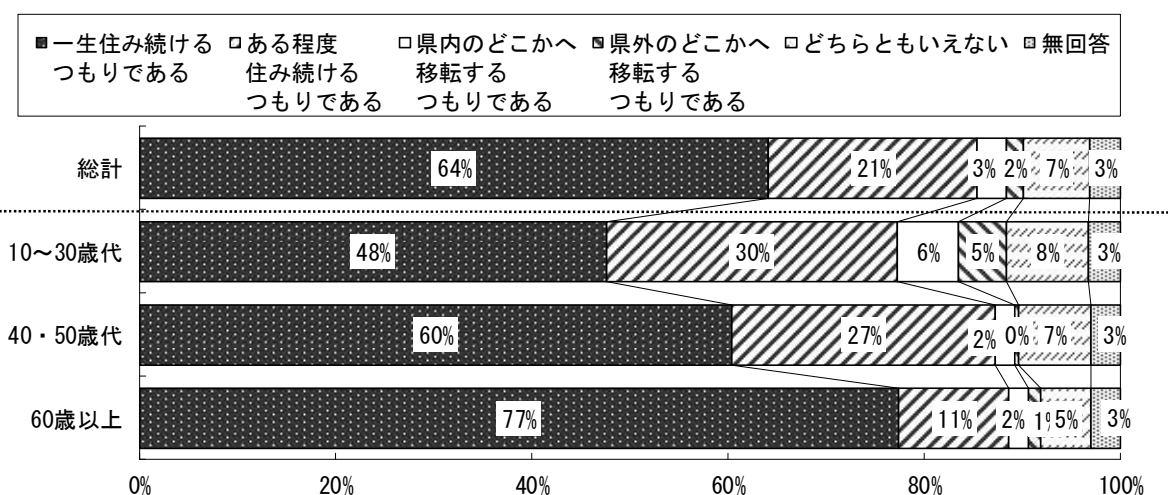
今後も村に住み続けたいかをたずねたところ、回答者全体では、「一生住み続けるつもりである」は 61%、「ある程度住み続けるつもりである」は 24% となっており、定住意向は高いと言えます。10～30 歳代では転出意向が 1 割程度みられます。

令和2年調査と比較すると、「一生住み続けるつもりである」の割合が、3つの年齢区分のいずれでも低下しています。

【令和7年調査】



【令和2年調査】

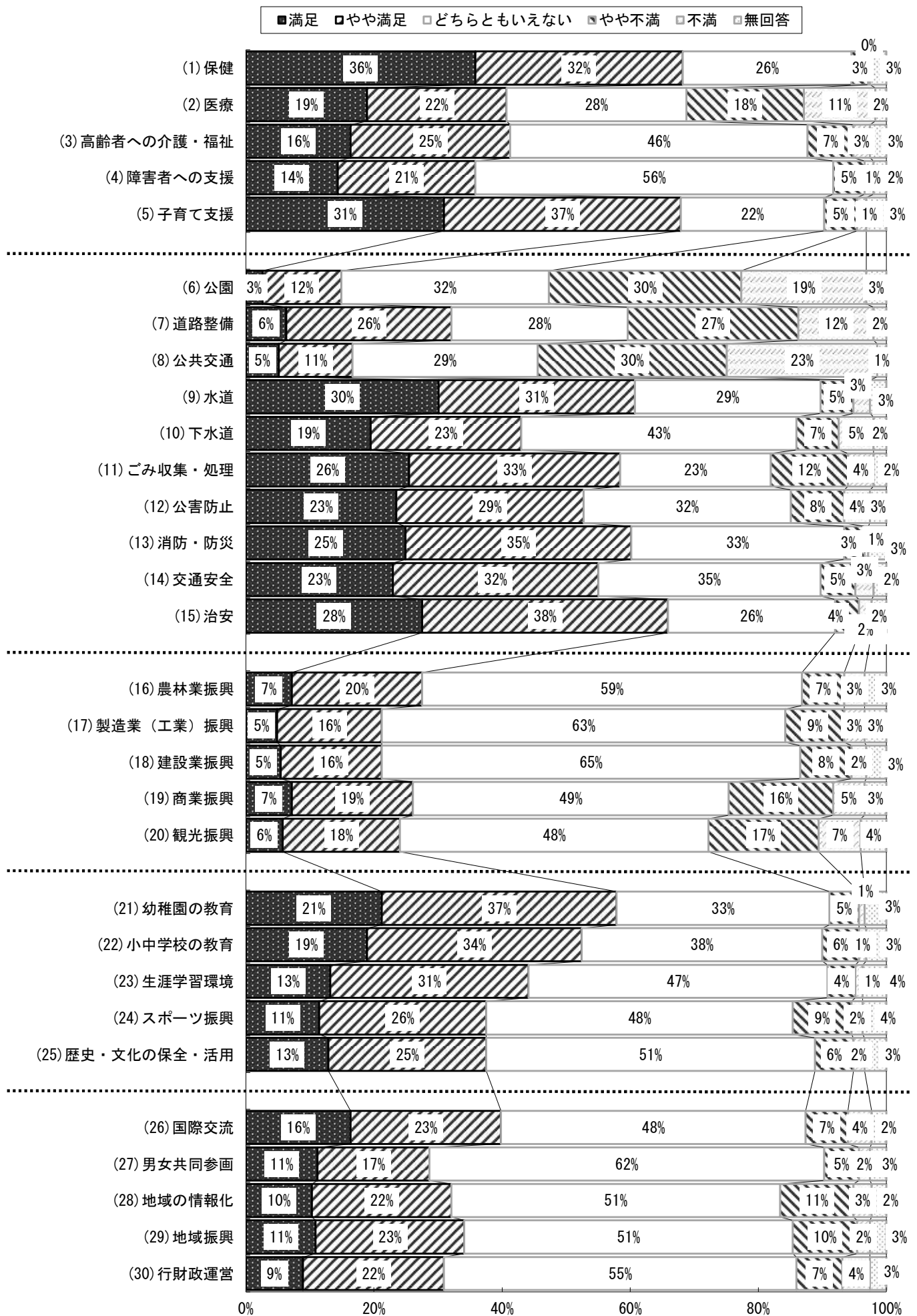


問 8 あなたは、大玉村の生活環境やむらづくりの現状についてどのように感じていますか。項目ごとに該当する1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

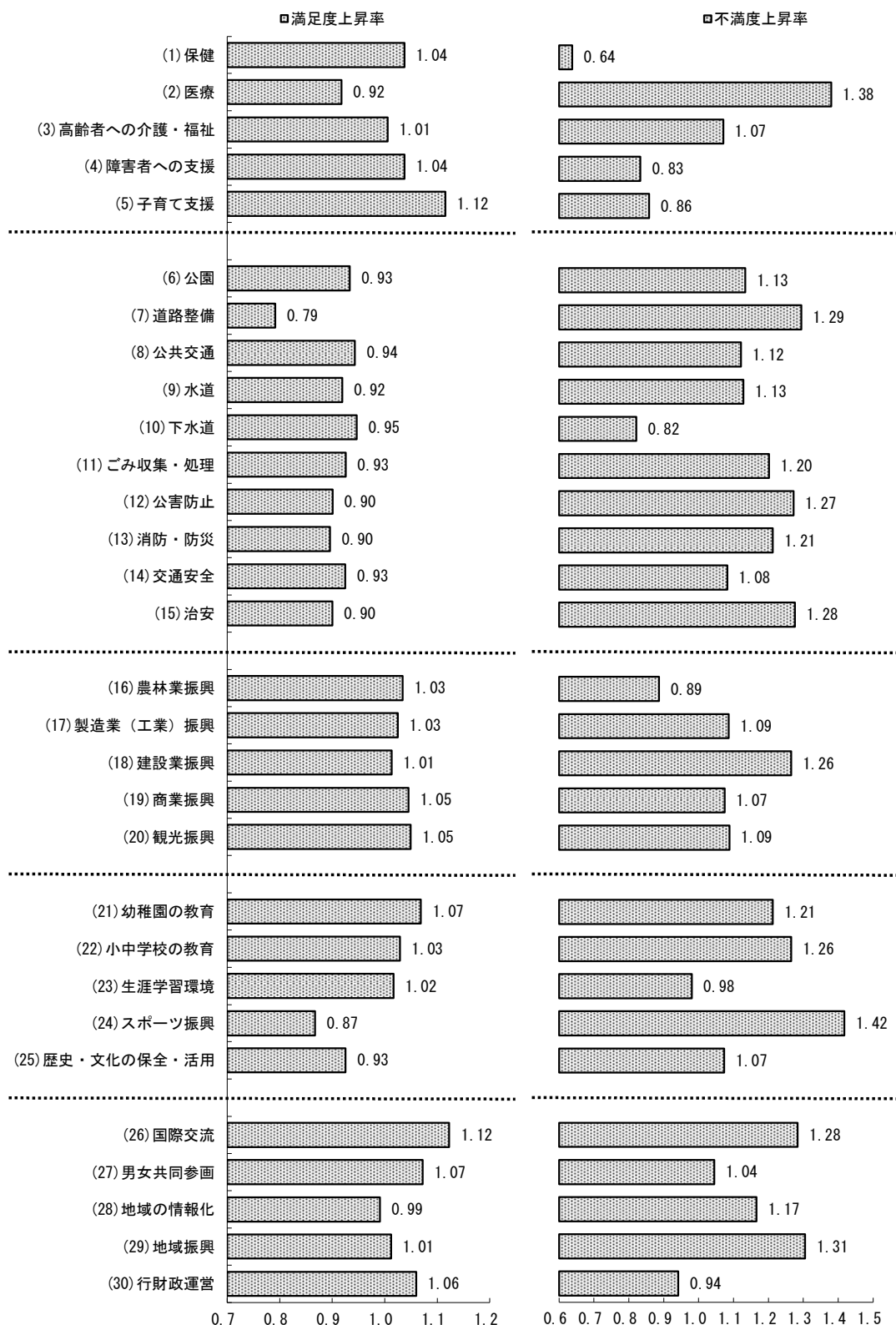
〔人数〕		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
保健・医療・福祉	(1) 保健（健康づくり、健康診断など）	125	113	92	9	1	9
	(2) 医療	66	76	98	64	39	6
	(3) 高齢者への介護・福祉	57	87	162	25	9	9
	(4) 障害者への支援	50	75	195	17	5	7
	(5) 子育て支援	108	129	78	18	5	11
生活環境	(6) 公園	9	43	113	105	68	11
	(7) 道路整備	22	90	96	93	41	7
	(8) 公共交通	18	40	101	103	82	5
	(9) 水道	105	107	101	18	9	9
	(10) 下水道	68	82	150	23	19	7
	(11) ごみ収集・処理	89	115	82	42	14	7
	(12) 公害防止（騒音・振動など）	82	102	113	29	14	9
	(13) 消防・防災	87	123	116	11	2	10
	(14) 交通安全	80	112	121	19	10	7
	(15) 治安	96	134	91	13	7	8
産業振興	(16) 農林業振興	25	71	207	23	11	12
	(17) 製造業（工業）振興	17	57	220	32	11	12
	(18) 建設業振興	19	55	228	28	8	11
	(19) 商業振興	25	66	172	57	17	12
	(20) 観光振興	20	64	168	60	23	14
教育・文化	(21) 幼稚園の教育	74	128	116	16	3	12
	(22) 小中学校の教育	66	117	131	20	4	11
	(23) 生涯学習環境	46	108	163	15	4	13
	(24) スポーツ振興	40	91	167	32	6	13
	(25) 歴史・文化の保全・活用	45	86	179	21	6	12
行財政・むらづくり	(26) 国際交流	57	82	166	23	13	8
	(27) 男女共同参画	39	61	215	19	6	9
	(28) 地域の情報化	36	76	179	40	10	8
	(29) 地域振興（コミュニティづくり）	38	81	179	35	7	9
	(30) 行財政運営	31	77	192	25	15	9

〔割合〕		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
保健・医療・福祉	(1) 保健（健康づくり、健康診断など）	36%	32%	26%	3%	0%	3%
	(2) 医療	19%	22%	28%	18%	11%	2%
	(3) 高齢者への介護・福祉	16%	25%	46%	7%	3%	3%
	(4) 障害者への支援	14%	21%	56%	5%	1%	2%
	(5) 子育て支援	31%	37%	22%	5%	1%	3%
生活環境	(6) 公園	3%	12%	32%	30%	19%	3%
	(7) 道路整備	6%	26%	28%	27%	12%	2%
	(8) 公共交通	5%	11%	29%	30%	23%	1%
	(9) 水道	30%	31%	29%	5%	3%	3%
	(10) 下水道	19%	23%	43%	7%	5%	2%
	(11) ごみ収集・処理	26%	33%	23%	12%	4%	2%
	(12) 公害防止（騒音・振動など）	23%	29%	32%	8%	4%	3%
	(13) 消防・防災	25%	35%	33%	3%	1%	3%
	(14) 交通安全	23%	32%	35%	5%	3%	2%
	(15) 治安	28%	38%	26%	4%	2%	2%
産業振興	(16) 農林業振興	7%	20%	59%	7%	3%	3%
	(17) 製造業（工業）振興	5%	16%	63%	9%	3%	3%
	(18) 建設業振興	5%	16%	65%	8%	2%	3%
	(19) 商業振興	7%	19%	49%	16%	5%	3%
	(20) 観光振興	6%	18%	48%	17%	7%	4%
教育・文化	(21) 幼稚園の教育	21%	37%	33%	5%	1%	3%
	(22) 小中学校の教育	19%	34%	38%	6%	1%	3%
	(23) 生涯学習環境	13%	31%	47%	4%	1%	4%
	(24) スポーツ振興	11%	26%	48%	9%	2%	4%
	(25) 歴史・文化の保全・活用	13%	25%	51%	6%	2%	3%
行財政・むらづくり	(26) 国際交流	16%	23%	48%	7%	4%	2%
	(27) 男女共同参画	11%	17%	62%	5%	2%	3%
	(28) 地域の情報化	10%	22%	51%	11%	3%	2%
	(29) 地域振興（コミュニティづくり）	11%	23%	51%	10%	2%	3%
	(30) 行財政運営	9%	22%	55%	7%	4%	3%

むらづくり施策の 30 分野について、満足度を 5 段階の尺度でお聞きしたところ、「満足・やや満足」の合計は「(15)治安」(66%)を筆頭に、生活環境領域で多く、産業振興領域や行財政・むらづくり領域で少ない傾向がみられます。



令和2年調査からの「満足・やや満足」の上昇率、「不満・やや不満」の上昇率をみると、「満足・やや満足」の上昇率が1を超え、「不満・やや不満」の上昇率が1を割り込む「(1)保健」、「(5)子育て支援」、「(16)農林業振興」、「(30)行財政運営」の4項目は施策の評価が上がっていると考えられる一方、「不満・やや不満」の上昇率が1を超え、「満足・やや満足」の上昇率が1を割り込む「(2)医療」、「(7)道路整備」、「(24)スポーツ振興」等は、施策があまり評価されていないと考えられます。



第3章 地域幸福度（Well-Being）指標について

問 9 自分らしい生き方や地域の人間関係に関する次の項目について、どのように感じていますか。項目ごとに該当する1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

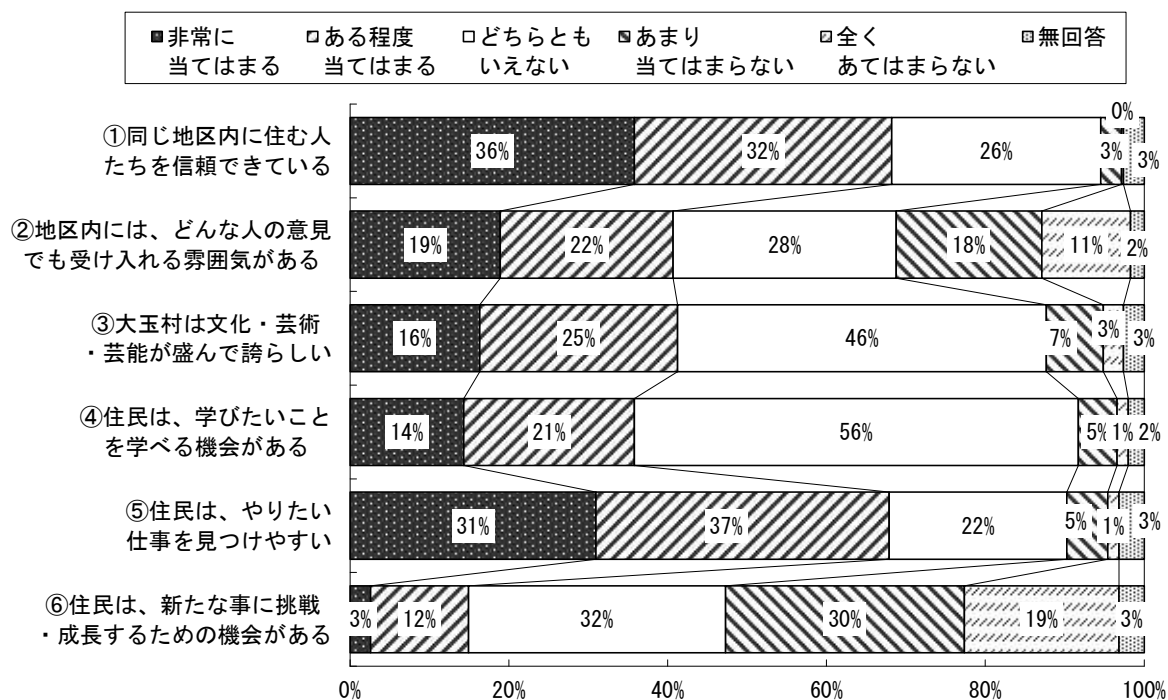
〔人数〕

	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
(1) 同じ地区内に住む人たちを信頼できている	125	113	92	9	1	9
(2) 地区内には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	66	76	98	64	39	6
(3) 大玉村は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	57	87	162	25	9	9
(4) 住民は、学びたいことを学べる機会がある	50	75	195	17	5	7
(5) 住民は、やりたい仕事を見つけやすい	108	129	78	18	5	11
(6) 住民は、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	9	43	113	105	68	11

〔割合〕

	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	無回答
(1) 同じ地区内に住む人たちを信頼できている	36%	32%	26%	3%	0%	3%
(2) 地区内には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	19%	22%	28%	18%	11%	2%
(3) 大玉村は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16%	25%	46%	7%	3%	3%
(4) 住民は、学びたいことを学べる機会がある	14%	21%	56%	5%	1%	2%
(5) 住民は、やりたい仕事を見つけやすい	31%	37%	22%	5%	1%	3%
(6) 住民は、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	3%	12%	32%	30%	19%	3%

問9は、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）に着目した「地域幸福度（Well-Being）」に関する設問です。「(1) 地域住民の信頼関係」、「(2) 地域住民同士の寛容さ」、「(3) 村の文化への誇り意識」、「(4) 地域の学習機会」、「(5) 地域の仕事の機会」、「(6) 地域の挑戦・成長の機会」の6つの項目について、5段階の尺度でお聞きしたところ、(1)と(5)の評価が高く、(6)の評価が低い傾向がみられました。



(1) ～ (6) のそれぞれについて、男女別に、年齢区分ごとに傾向の違いを見ます。

(1) 同じ地区内に住む人たちを信頼できている

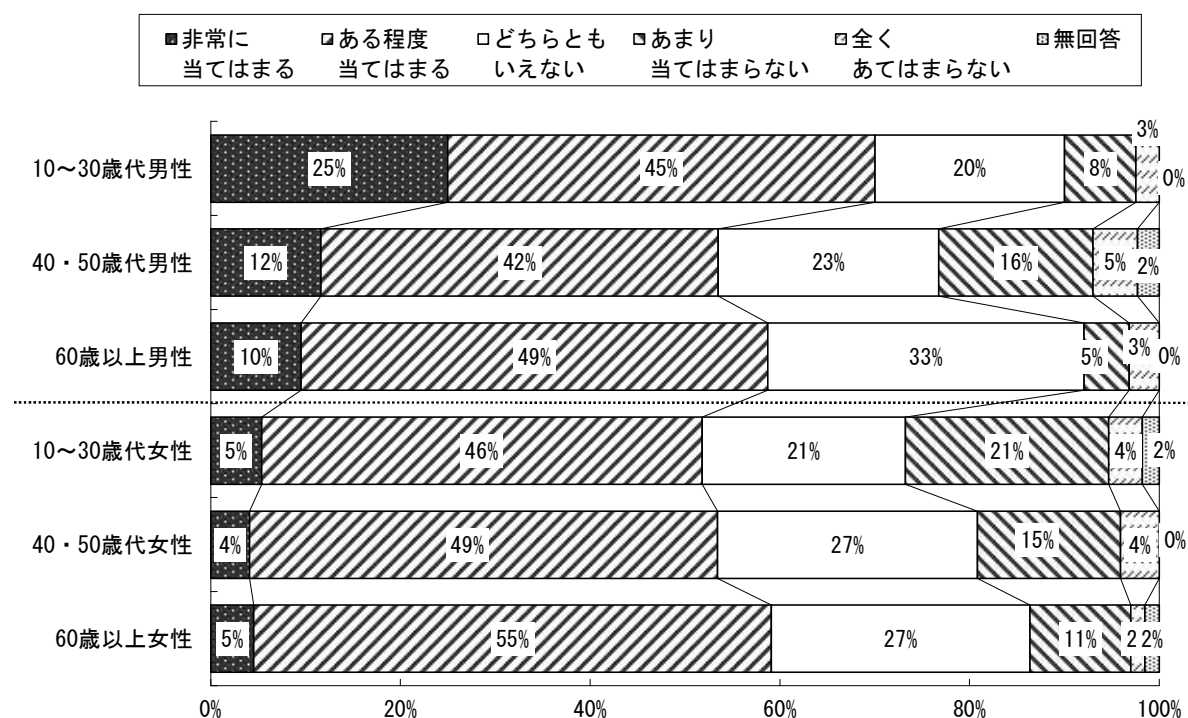
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	21	14%	10	25%	5	12%	6	10%
ある程度当てはまる	67	46%	18	45%	18	42%	31	49%
どちらともいえない	39	27%	8	20%	10	23%	21	33%
あまり当てはまらない	13	9%	3	8%	7	16%	3	5%
全くあてはまらない	5	3%	1	3%	2	5%	2	3%
無回答	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	9	5%	3	5%	3	4%	3	5%
ある程度当てはまる	98	50%	26	46%	36	49%	36	55%
どちらともいえない	50	26%	12	21%	20	27%	18	27%
あまり当てはまらない	30	15%	12	21%	11	15%	7	11%
全くあてはまらない	6	3%	2	4%	3	4%	1	2%
無回答	2	1%	1	2%	0	0%	1	2%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

「(1) 地域住民の信頼関係」は、女性より男性の方が割合が高く、特に「10～30 歳代」の男性が高くなっています。



(2) 地区内には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

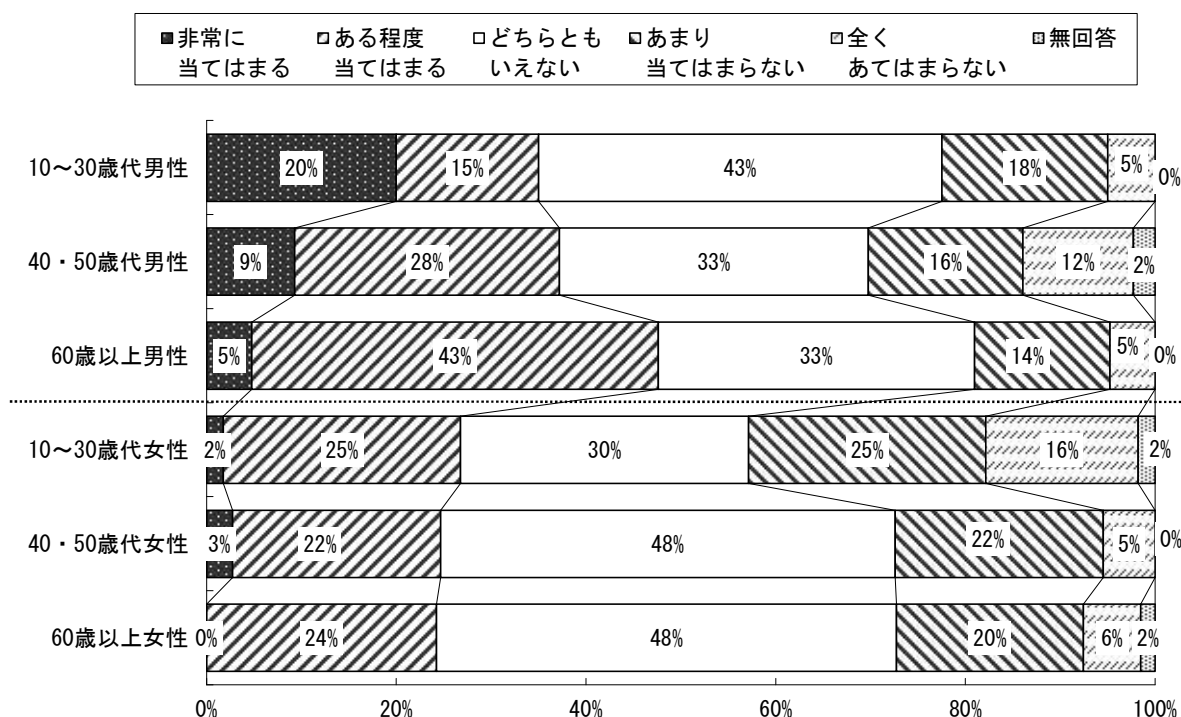
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	15	10%	8	20%	4	9%	3	5%
ある程度当てはまる	45	31%	6	15%	12	28%	27	43%
どちらともいえない	52	36%	17	43%	14	33%	21	33%
あまり当てはまらない	23	16%	7	18%	7	16%	9	14%
全くあてはまらない	10	7%	2	5%	5	12%	3	5%
無回答	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	3	2%	1	2%	2	3%	0	0%
ある程度当てはまる	46	24%	14	25%	16	22%	16	24%
どちらともいえない	84	43%	17	30%	35	48%	32	48%
あまり当てはまらない	43	22%	14	25%	16	22%	13	20%
全くあてはまらない	17	9%	9	16%	4	5%	4	6%
無回答	2	1%	1	2%	0	0%	1	2%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

「(2)地域住民同士の寛容さ」は、女性より男性の方が割合が高く、「非常に当てはまる」は「10～30 歳代の男性」で高く、「ある程度当てはまる」まで含めると、「60 歳以上の男性」で高くなっています。



(3) 大玉村は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい

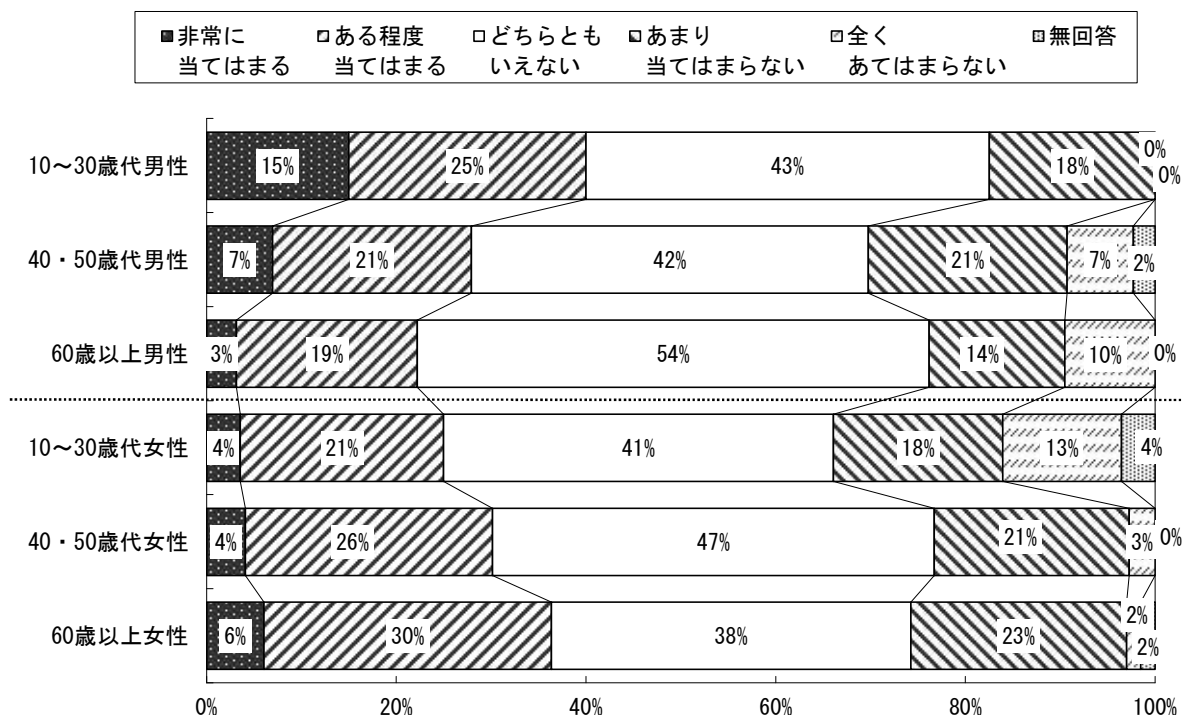
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	11	8%	6	15%	3	7%	2	3%
ある程度当てはまる	31	21%	10	25%	9	21%	12	19%
どちらともいえない	69	47%	17	43%	18	42%	34	54%
あまり当てはまらない	25	17%	7	18%	9	21%	9	14%
全くあてはまらない	9	6%	0	0%	3	7%	6	10%
無回答	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	9	5%	2	4%	3	4%	4	6%
ある程度当てはまる	51	26%	12	21%	19	26%	20	30%
どちらともいえない	82	42%	23	41%	34	47%	25	38%
あまり当てはまらない	40	21%	10	18%	15	21%	15	23%
全くあてはまらない	10	5%	7	13%	2	3%	1	2%
無回答	3	2%	2	4%	0	0%	1	2%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

「(3) 村の文化への誇り意識」は、「非常に当てはまる」は「10～30 歳代の男性」で高く、「ある程度当てはまる」まで含めると、「60 歳以上の女性」でも高い傾向がみられます。



(4) 住民は、学びたいことを学べる機会がある

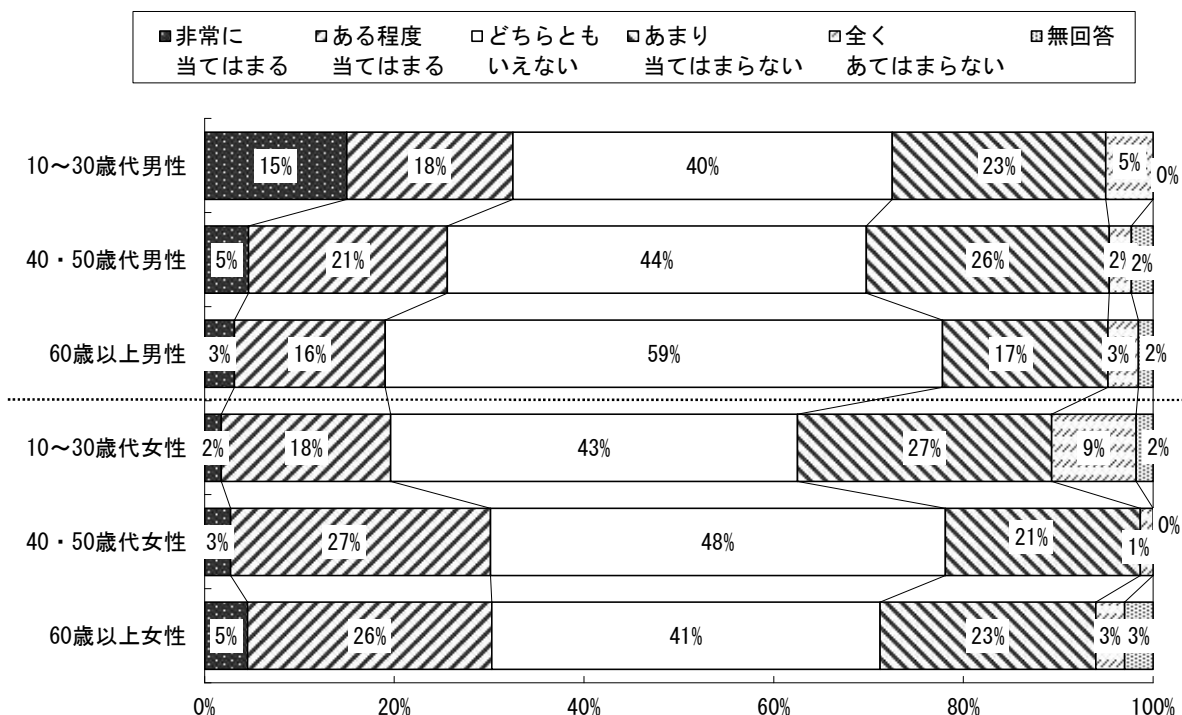
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	10	7%	6	15%	2	5%	2	3%
ある程度当てはまる	26	18%	7	18%	9	21%	10	16%
どちらともいえない	72	49%	16	40%	19	44%	37	59%
あまり当てはまらない	31	21%	9	23%	11	26%	11	17%
全くあてはまらない	5	3%	2	5%	1	2%	2	3%
無回答	2	1%	0	0%	1	2%	1	2%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	6	3%	1	2%	2	3%	3	5%
ある程度当てはまる	47	24%	10	18%	20	27%	17	26%
どちらともいえない	86	44%	24	43%	35	48%	27	41%
あまり当てはまらない	45	23%	15	27%	15	21%	15	23%
全くあてはまらない	8	4%	5	9%	1	1%	2	3%
無回答	3	2%	1	2%	0	0%	2	3%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

「(4)地域の学習機会」は、「非常に当てはまる」は「10～30 歳代の男性」で高く、「当てはまらない」まで含めると、「60 歳以上の女性」で「当てはまる」という考えが低い傾向がみられます。



(5) 住民は、やりたい仕事を見つけやすい

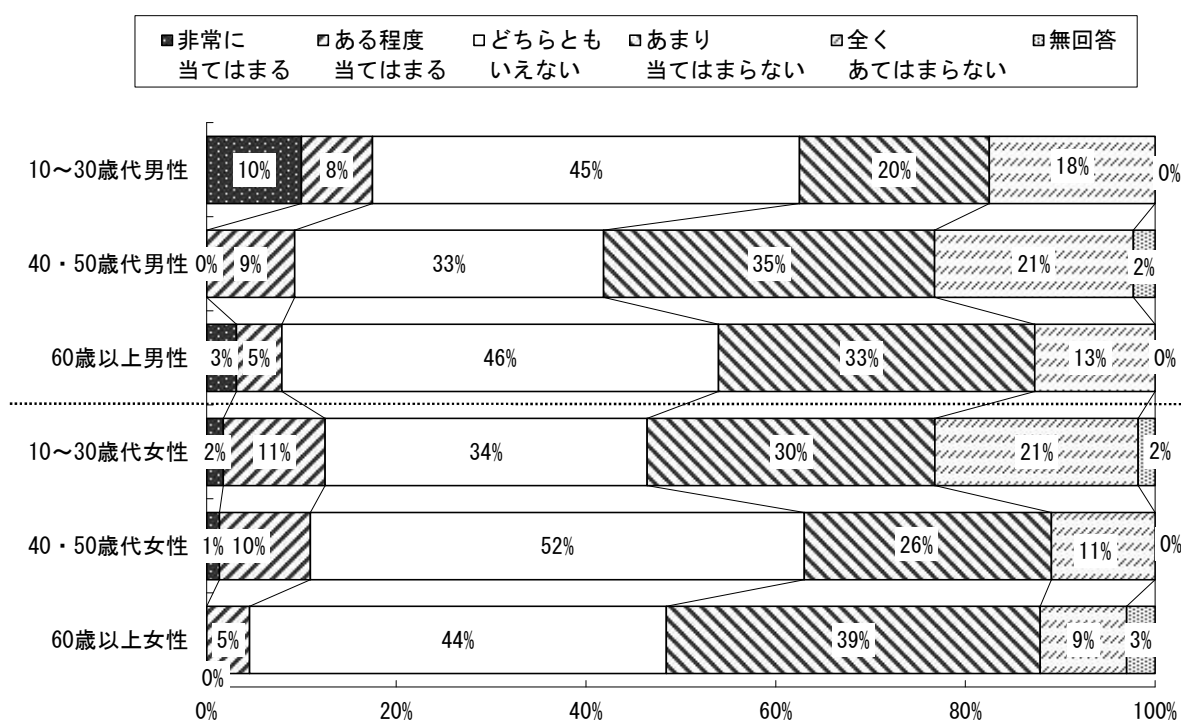
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	6	4%	4	10%	0	0%	2	3%
ある程度当てはまる	10	7%	3	8%	4	9%	3	5%
どちらともいえない	61	42%	18	45%	14	33%	29	46%
あまり当てはまらない	44	30%	8	20%	15	35%	21	33%
全くあてはまらない	24	16%	7	18%	9	21%	8	13%
無回答	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	2	1%	1	2%	1	1%	0	0%
ある程度当てはまる	16	8%	6	11%	7	10%	3	5%
どちらともいえない	86	44%	19	34%	38	52%	29	44%
あまり当てはまらない	62	32%	17	30%	19	26%	26	39%
全くあてはまらない	26	13%	12	21%	8	11%	6	9%
無回答	3	2%	1	2%	0	0%	2	3%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

「(5) 地域の仕事の機会」は、いずれの層も「全くあてはまらない」と「あまり当てはまらない」の合計が、「非常に当てはまる」と「ある程度当てはまる」の合計を上回っています。「全くあてはまらない」は、「40・50 歳代の男性」と「10～30 歳代の女性」で割合が高く、「あまり当てはまらない」も含め、この層が「(5) 地域の仕事の機会」をネガティブに考えている傾向が強いと言えます。



(6) 住民は、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

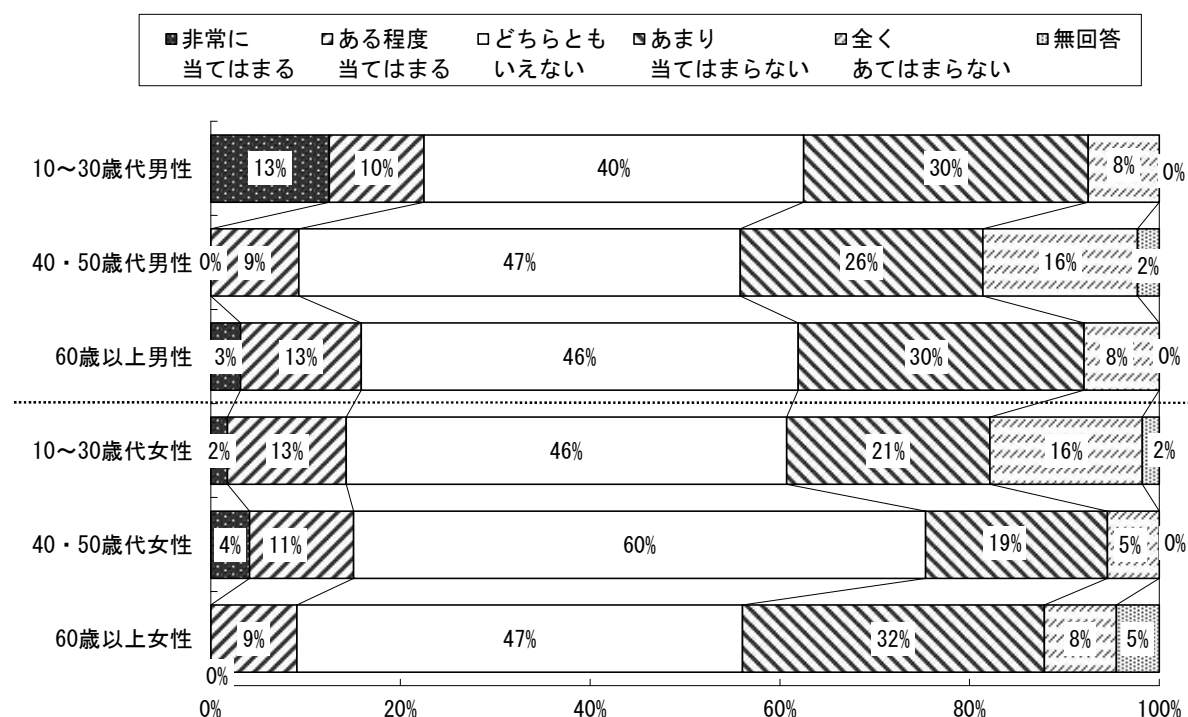
〔男性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	7	5%	5	13%	0	0%	2	3%
ある程度当てはまる	16	11%	4	10%	4	9%	8	13%
どちらともいえない	65	45%	16	40%	20	47%	29	46%
あまり当てはまらない	42	29%	12	30%	11	26%	19	30%
全くあてはまらない	15	10%	3	8%	7	16%	5	8%
無回答	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	146	100%	40	100%	43	100%	63	100%

〔女性〕

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非常に当てはまる	4	2%	1	2%	3	4%	0	0%
ある程度当てはまる	21	11%	7	13%	8	11%	6	9%
どちらともいえない	101	52%	26	46%	44	60%	31	47%
あまり当てはまらない	47	24%	12	21%	14	19%	21	32%
全くあてはまらない	18	9%	9	16%	4	5%	5	8%
無回答	4	2%	1	2%	0	0%	3	5%
合計	195	100%	56	100%	73	100%	66	100%

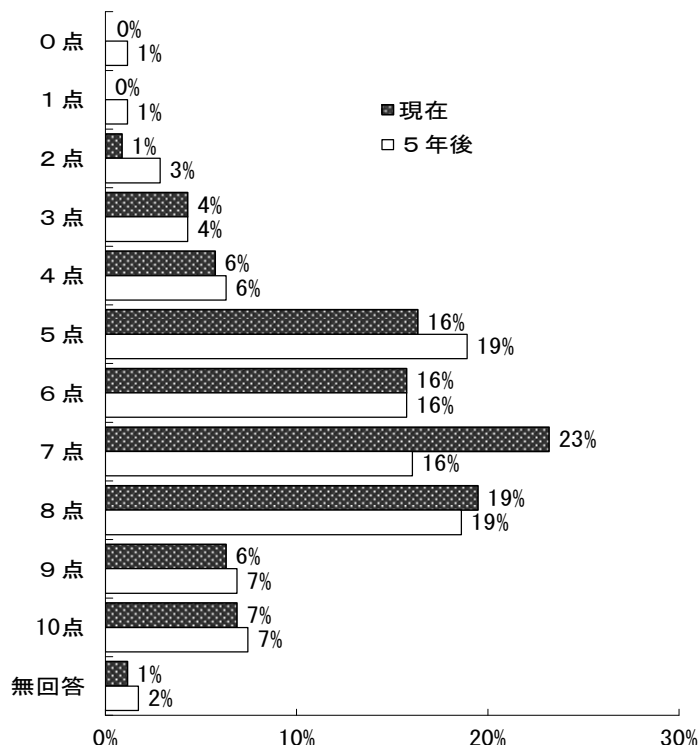
「(6)地域の挑戦・成長の機会」も、(5)と同様に、いずれの層も「全くあてはまらない」と「あまり当てはまらない」の合計が、「非常に当てはまる」と「ある程度当てはまる」の合計を上回っています。また、(5)と同様に、「全くあてはまらない」は、「40・50 歳代の男性」と「10～30 歳代の女性」で割合が高くなっています。



問 10 あなたは、日々の暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点になると思いますか。【点数に○】

問 11 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。【点数に○】

	現在		5 年後	
	人数	割合	人数	割合
0 点	0	0%	4	1%
1 点	3	1%	10	3%
2 点	15	4%	15	4%
3 点	20	6%	22	6%
4 点	57	16%	66	19%
5 点	55	16%	55	16%
6 点	81	23%	56	16%
7 点	68	19%	65	19%
8 点	22	6%	24	7%
9 点	24	7%	26	7%
10 点	0	0%	0	0%
無回答	4	1%	6	2%
合計	349	100%	349	100%
平均	5.7 点		5.4 点	



問 10 も「地域幸福度 (Well-Being)」に関する設問です。

「日々の暮らしをどの程度幸せと感じるか」（現在の幸福度）、「5 年後、あなたはどの程度幸せだと思うか」（5 年後の幸福度）を 10 段階尺度でお聞きしたところ、現在の幸福度は 7 点以上（7～10 点）をつけた人は全体の 55% を占め、平均は 5.7 点でした。5 年後の幸福度は、5 点が 66 人、7 点が 65 人と僅差で共に 19% と最も多くなっており、平均は 5.4 点と「現在」を下回りました。

5 年後は「0 点」や「1 点」といった低い評価の回答が増えており、その結果、平均点が下がったものと考えられます。

なお、デジタル庁「2024 年度版 Well-Being 全国調査」（n=101,498）では、現在の幸福度の全国平均は 6.49 点、5 年度の幸福度は 6.40 点で、本村はこれらより低い結果となっています。

性別・年齢区分別に平均点をみると、「5 年後」が「現在」を上回るのは、「10～30 歳代の男性」のみとなっています。

〔平均点〕

	総計	10～30 歳代	40・50 歳代	60 歳代以上
男性の「現在」	5.5	5.6	5.4	5.5
男性の「5 年後」	5.4	5.9	5.0	5.3
女性の「現在」	5.8	5.9	5.6	5.9
女性の「5 年後」	5.5	5.9	5.4	5.2

第4章 震災復興について

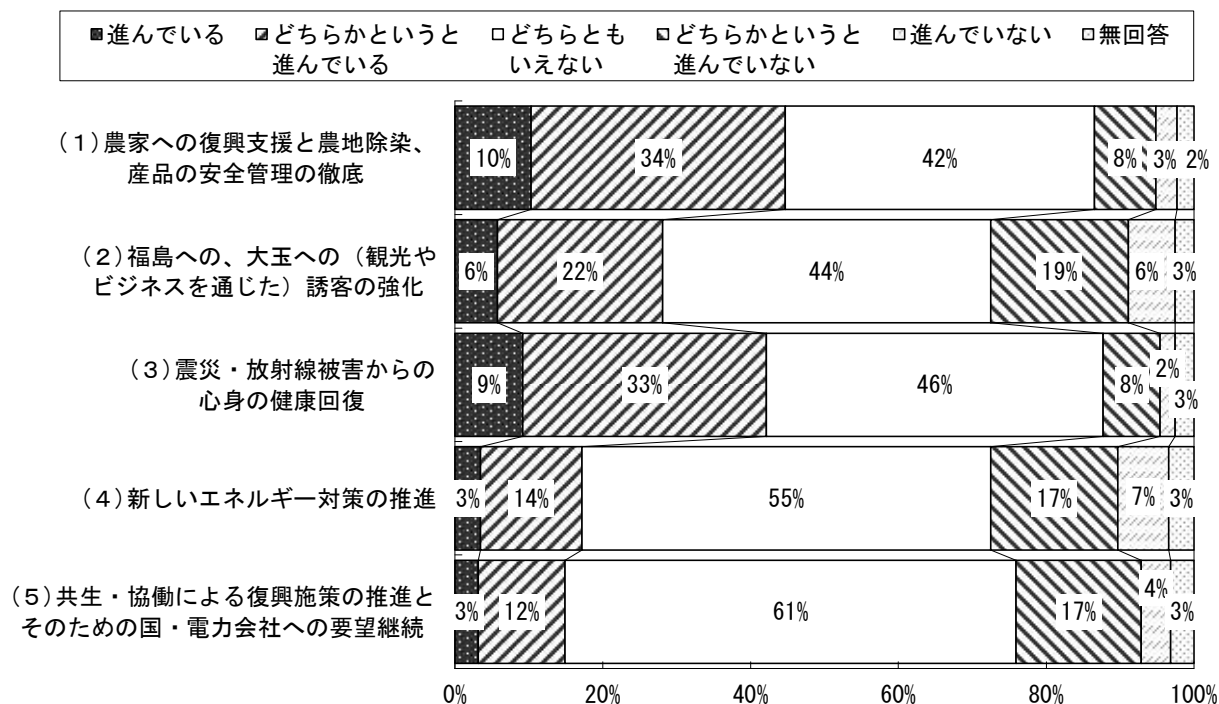
問12 大玉村の復興の進捗状況についてどのように感じていますか。以下の(1)～(5)の項目ごとの1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

〔人数〕	進んでいる	進んでいる どちらかというと	どちらとも いえない	進んでいない どちらかというと	進んでいない	無回答
(1) 農家への復興支援と農地除染、製品の安全管理の徹底	36	120	146	29	10	8
(2) 福島への、大玉への（観光やビジネスを通じた）誘客の強化	20	78	155	65	22	9
(3) 震災・放射線被害からの心身の健康回復	32	115	159	27	7	9
(4) 新しいエネルギー対策の推進	12	48	193	60	24	12
(5) 共生・協働による復興施策の推進とそのための国・電力会社への要望継続	11	41	213	59	14	11

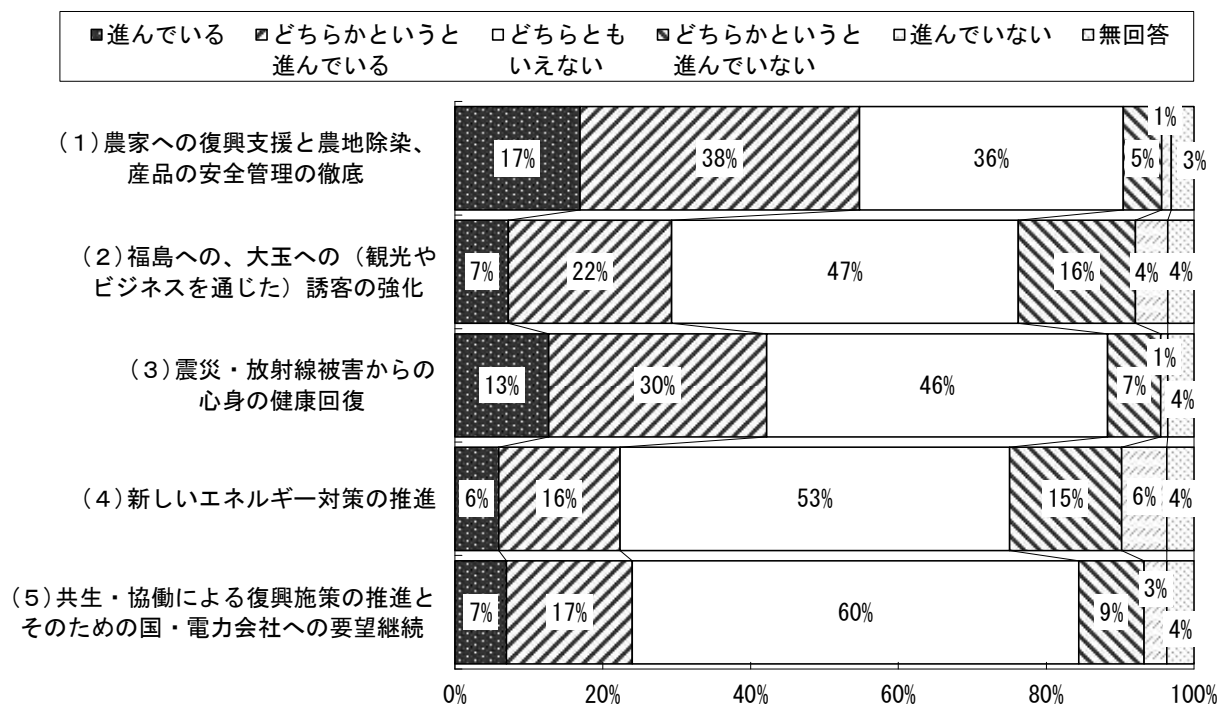
〔割合〕	進んでいる	進んでいる どちらかというと	どちらとも いえない	進んでいない どちらかというと	進んでいない	無回答
(1) 農家への復興支援と農地除染、製品の安全管理の徹底	10%	34%	42%	8%	3%	2%
(2) 福島への、大玉への（観光やビジネスを通じた）誘客の強化	6%	22%	44%	19%	6%	3%
(3) 震災・放射線被害からの心身の健康回復	9%	33%	46%	8%	2%	3%
(4) 新しいエネルギー対策の推進	3%	14%	55%	17%	7%	3%
(5) 共生・協働による復興施策の推進とそのための国・電力会社への要望継続	3%	12%	61%	17%	4%	3%

村の復興の進捗状況について、5つの項目を5段階尺度でお聞きしたところ、「(1)農家への復興支援と農地除染、製品の安全管理の徹底」、「(3)震災・放射線被害からの心身の健康回復」の2項目で「進んでいる」と「どちらかというと進んでいる」の合計がそれぞれ4割強で、「進んでいない」と「どちらかというと進んでいない」の合計を上回っていますが、「(2)福島への、大玉への（観光やビジネスを通じた）誘客の強化」、「(4)新しいエネルギー対策の推進」、「(5)共生・協働による復興施策の推進とそのための国・電力会社への要望継続」の3項目は、進んでいるという回答が少ない状況です。

【令和7年調査】



【令和2年調査】



令和2年調査との比較では、むしろ、令和2年時点より、進んでいないと考える回答が目立っています。これは、復興関連の取り組みがマスメディアなどで紹介されることが減ってきていることが影響していると考えられますが、依然、福島第一原子力発電所の「燃料デブリの取り出し」などの目途が立っておらず、収束がみえないことも要因と考えられます。

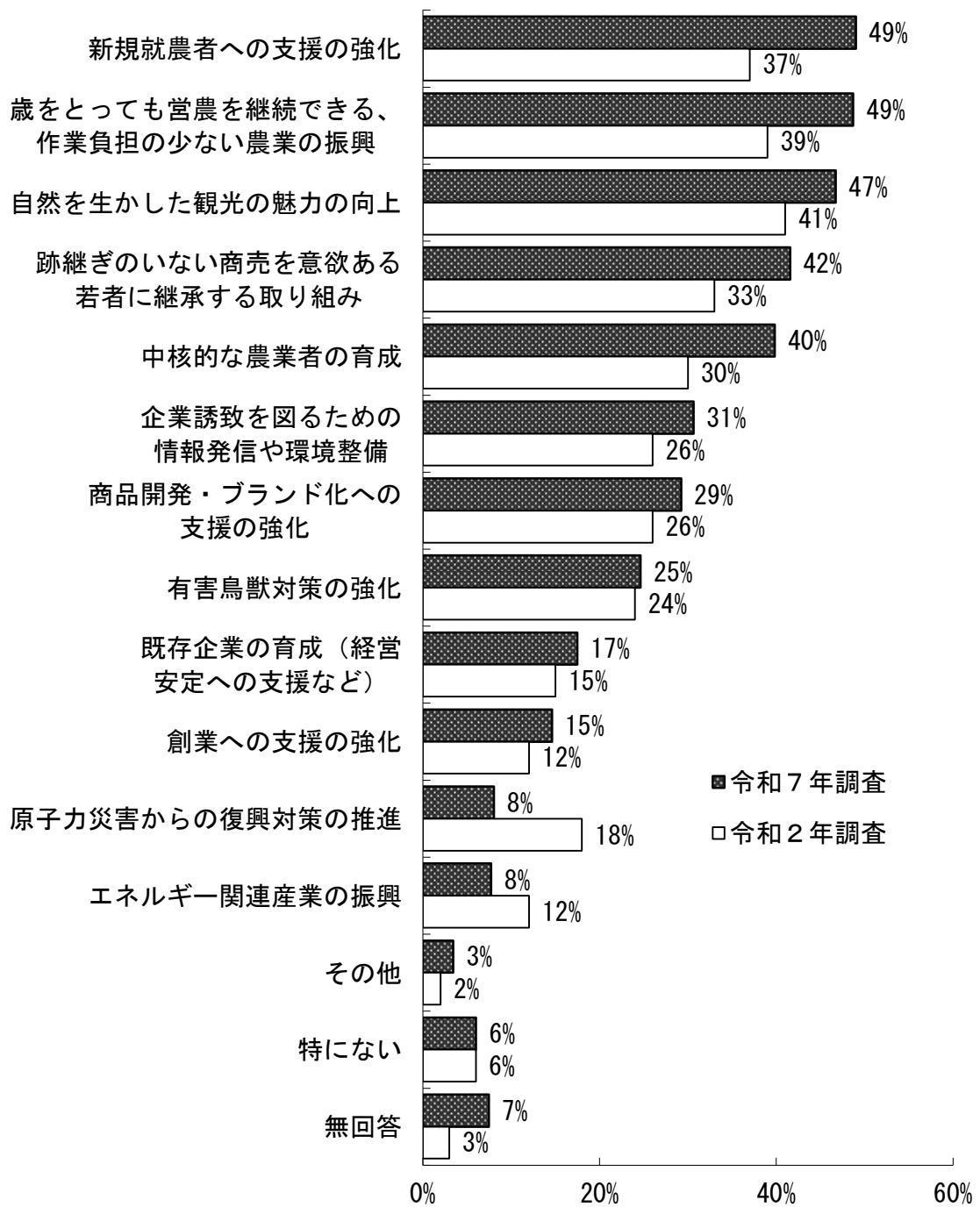
第5章 産業振興について

問 13 あなたは、大玉村の産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
新規就農者への支援の強化	171	49%	54	56%	48	41%	67	52%
中核的な農業者の育成	139	40%	38	39%	41	35%	59	45%
歳をとっても営農を継続できる、作業負担の少ない農業の振興	170	49%	47	48%	63	53%	59	45%
既存企業の育成（経営安定への支援など）	61	17%	19	20%	21	18%	20	15%
跡継ぎのいない商売を意欲ある若者に継承する取り組み	145	42%	51	53%	49	42%	44	34%
企業誘致を図るための情報発信や環境整備	107	31%	26	27%	36	31%	44	34%
創業への支援の強化	51	15%	13	13%	12	10%	26	20%
商品開発・ブランド化への支援の強化	102	29%	25	26%	39	33%	37	28%
有害鳥獣対策の強化	86	25%	16	16%	21	18%	49	38%
原子力災害からの復興対策の推進	28	8%	5	5%	6	5%	17	13%
自然を生かした観光の魅力の向上	163	47%	48	49%	62	53%	51	39%
エネルギー関連産業の振興	27	8%	4	4%	6	5%	17	13%
その他	12	3%	1	1%	5	4%	6	5%
特にない	21	6%	5	5%	7	6%	8	6%
無回答	26	7%	7	7%	7	6%	10	8%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

産業振興策について、農・林・商・工・観光の施策を分野横断的にお聞きしたところ、「新規就農者への支援の強化」、「歳をとっても営農を継続できる、作業負担の少ない農業の振興」の2項目が49%と最も割合が高く、次いで「自然を生かした観光の魅力の向上」が47%、「跡継ぎのいない商売を意欲ある若者に継承する取り組み」が42%などとなっています。

令和2年の調査結果と比較すると、「原子力災害からの復興対策の推進」と「エネルギー関連産業の振興」の2項目を除いたすべての項目で、令和2年より割合が高くなっています。



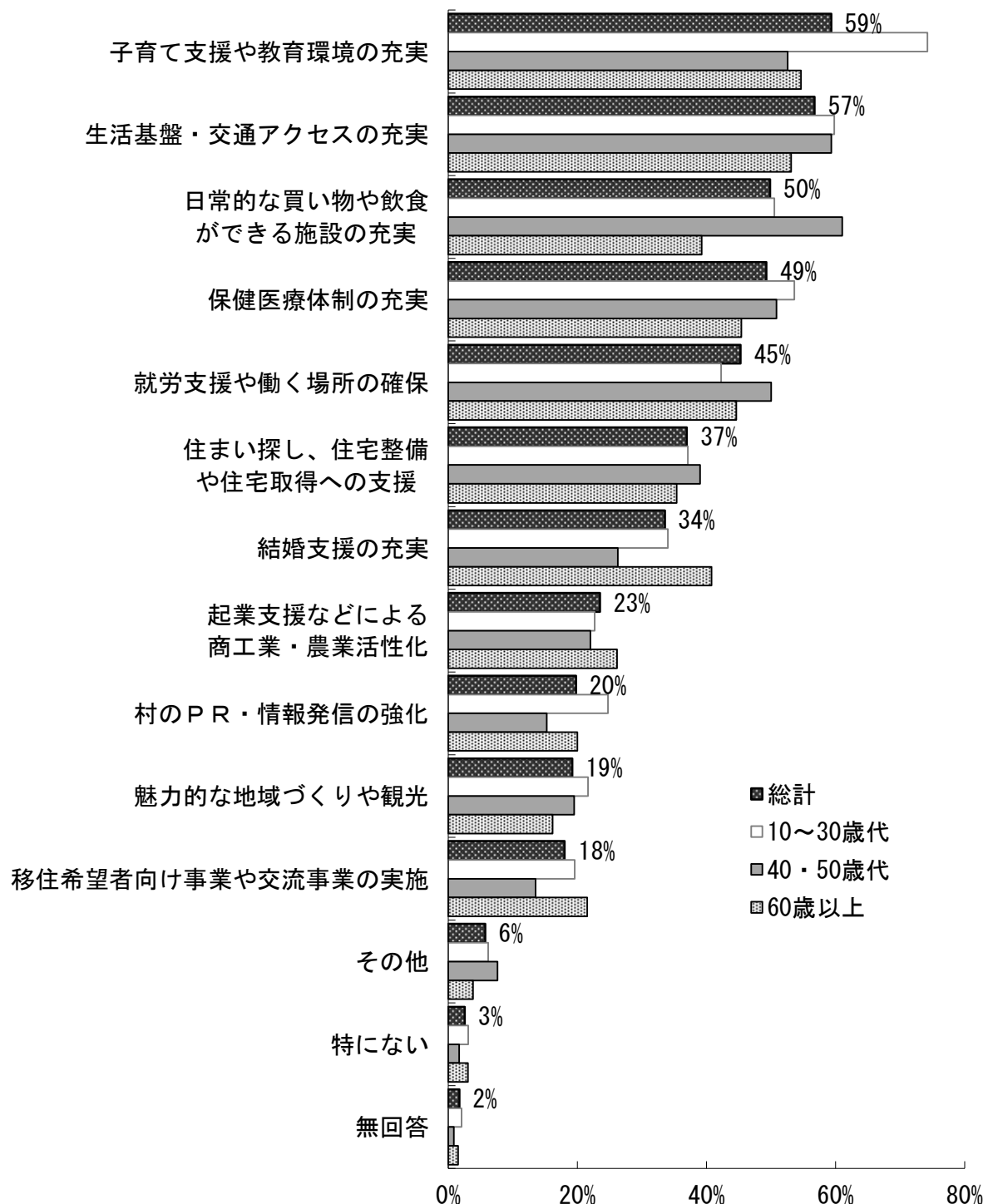
第6章 人口対策について

問 14 全国的に人口減少が進む中で、本村では人口増加を続けてきました。今後、他の市町村から大玉村に移住する方や、継続的に関わりを持つ方々を増やすために、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
結婚支援の充実（独身男女の出会いの機会づくり、経済的支援など）	117	34%	33	34%	31	26%	53	41%
子育て支援や教育環境の充実（経済的支援、施設設備など）	207	59%	72	74%	62	53%	71	55%
保健医療体制の充実（医療施設、健康づくり・相談など）	172	49%	52	54%	60	51%	59	45%
日常的な買い物や飲食ができる施設の充実	174	50%	49	51%	72	61%	51	39%
就労支援や働く場所の確保（企業誘致、就職相談など）	158	45%	41	42%	59	50%	58	45%
起業支援、新規就農支援、「6次産業化」などによる商工業・農業活性化	82	23%	22	23%	26	22%	34	26%
移住希望者向け事業や交流事業の実施（暮らし体験、移住者交流など）	63	18%	19	20%	16	14%	28	22%
魅力的な地域づくりや観光等による村への来訪者増加を図る	67	19%	21	22%	23	19%	21	16%
住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援（空家バンク、助成金など）	129	37%	36	37%	46	39%	46	35%
道路や公共交通など生活基盤・交通アクセスの充実	198	57%	58	60%	70	59%	69	53%
村のPR・情報発信の強化	69	20%	24	25%	18	15%	26	20%
その他	20	6%	6	6%	9	8%	5	4%
特にない	9	3%	3	3%	2	2%	4	3%
無回答	6	2%	2	2%	1	1%	2	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

移住・定住施策については、「子育て支援や教育環境の充実（経済的支援、施設設備など）」が59%と最も割合が高く、次いで「道路や公共交通など生活基盤・交通アクセスの充実」が57%、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が50%、「保健医療体制の充実（医療施設、健康づくり・相談など）」が49%などとなっています。

「子育て支援や教育環境の充実（経済的支援、施設設備など）」は「10～30歳代」で、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」は「40・50歳代」で割合が高い傾向がみられます。



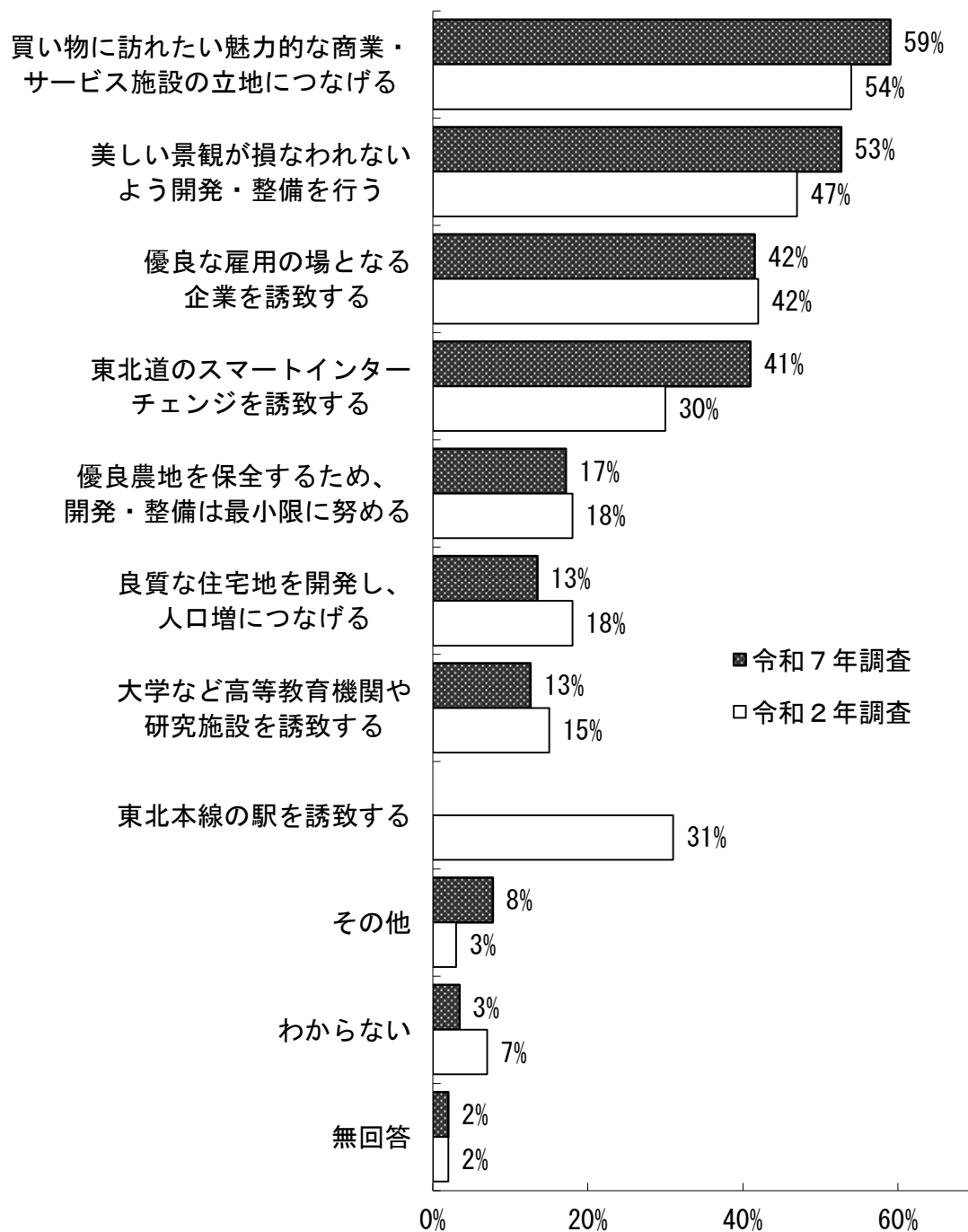
第7章 都市計画について

問 15 本村の国道4号沿道のJR東北本線からプラント西側の村道（宮下・高久線）までの間について、村では、本宮市方面から続く商工業地化を図りたいと考えています。このことについて、重要だと思われることを選んでください。【○は1つだけ】

	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
買い物に訪れたい魅力的な商業・サービス施設の立地につなげる	206	59%	68	70%	78	66%	59	45%
優良な雇用の場となる企業を誘致する	145	42%	39	40%	48	41%	57	44%
良質な住宅地を開発し、人口増につなげる	47	13%	11	11%	16	14%	20	15%
美しい景観が損なわれないよう開発・整備を行う	184	53%	53	55%	60	51%	71	55%
優良農地を保全するため、開発・整備は最小限に努める	60	17%	13	13%	17	14%	30	23%
東北道のスマートインターチェンジを整備する	143	41%	36	37%	52	44%	55	42%
大学など高等教育機関や研究施設を誘致する	44	13%	12	12%	16	14%	16	12%
その他	27	8%	7	7%	13	11%	7	5%
わからない	12	3%	1	1%	5	4%	5	4%
無回答	7	2%	2	2%	1	1%	3	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

本宮市方面から続く商工業地化について重要だと思われることについては、「買い物に訪れたい魅力的な商業・サービス施設の立地につなげる」が59%で最も割合が高く、次いで、「美しい景観が損なわれないよう開発・整備を行う」が53%、「優良な雇用の場となる企業を誘致する」が42%、「東北道のスマートインターチェンジを整備する」が41%などとなっています。

令和2年の調査結果と比較すると、「東北道のスマートインターチェンジを整備する」が特に割合を伸ばしています。なお、令和2年の調査で設けた選択肢「東北本線の駅を誘致する」は、令和7年の調査では設けていません。

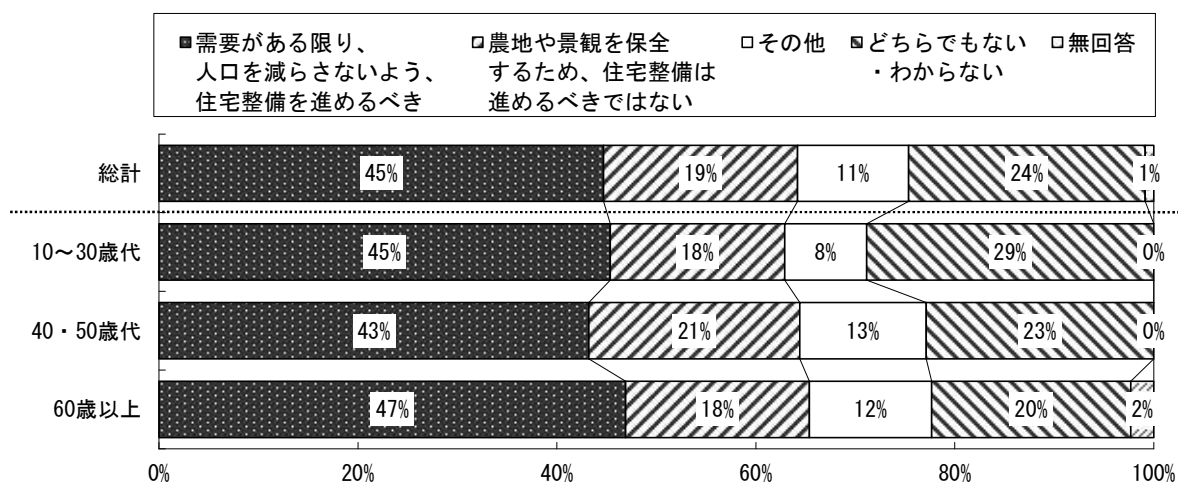


問 16 本村では、定住人口増加施策により、近年、大山小学校周辺や、役場の前の「村道町・宮ノ前線」の沿線を中心に、住宅整備が進んできました。こうした住宅整備と農地保全の関係について、今後 15 年間くらいの方角として、どのようにすべきとお考えになりますか。【〇は 1 つだけ】

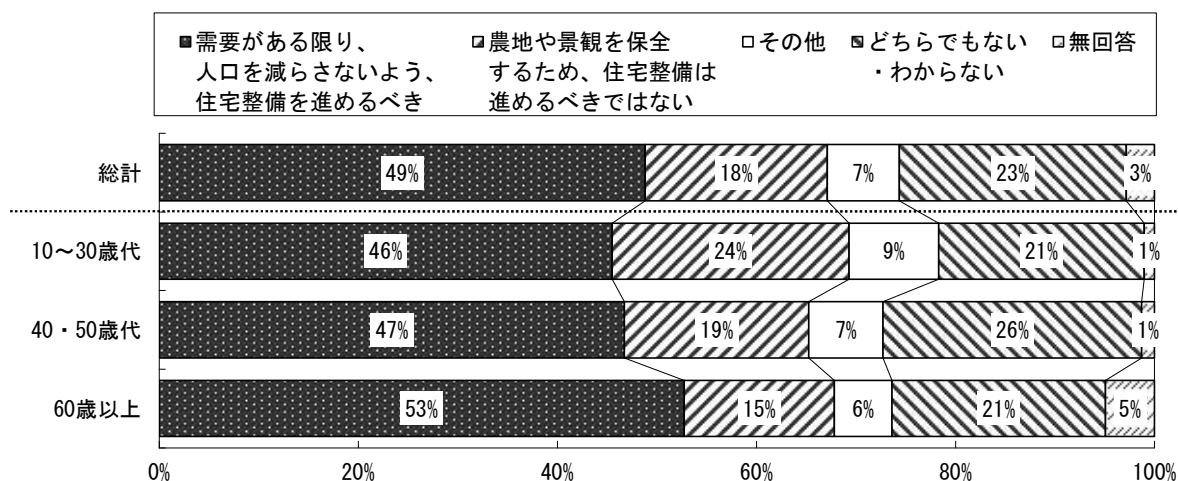
	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
需要がある限り、人口を減らさないよう、住宅整備を進めるべき	156	45%	44	45%	51	43%	61	47%
農地や景観を保全するため、住宅整備は進めるべきではない	68	19%	17	18%	25	21%	24	18%
その他	39	11%	8	8%	15	13%	16	12%
どちらでもない・わからない	83	24%	28	29%	27	23%	26	20%
無回答	3	1%	0	0%	0	0%	3	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

住宅整備と農地保全の関係について、今後 15 年間くらいの方角としてお聞きしたところ、「需要がある限り、人口を減らさないよう、住宅整備を進めるべき」が 45%と最も割合が高く、令和 2 年調査とおおむね同様の傾向となっています。

【令和 7 年調査】



【令和 2 年調査】



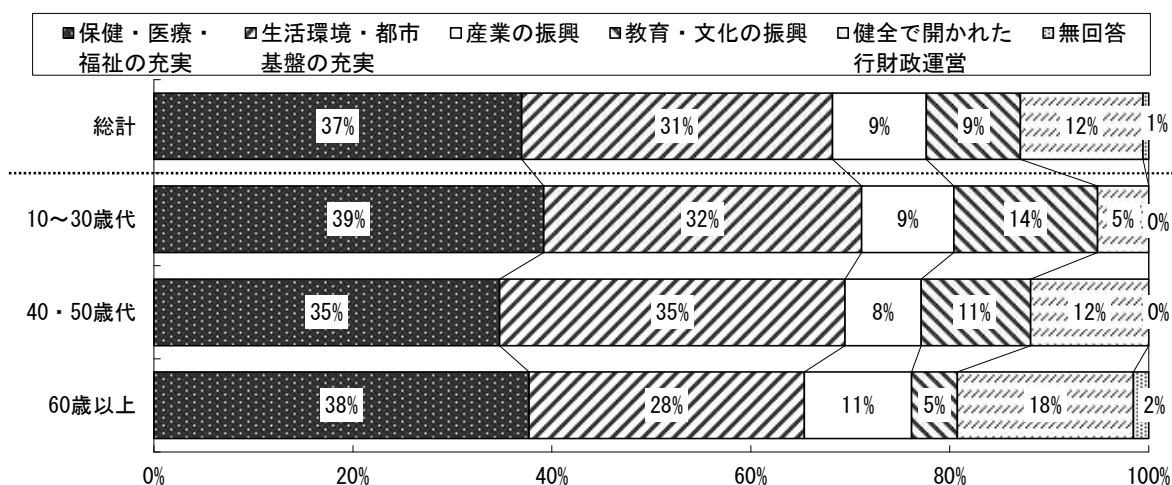
第8章 むらづくり全体について

問 17 あなたは、今後の大玉村は、以下の5つの分野で、特にどの分野を優先してまちづくりを進めるべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

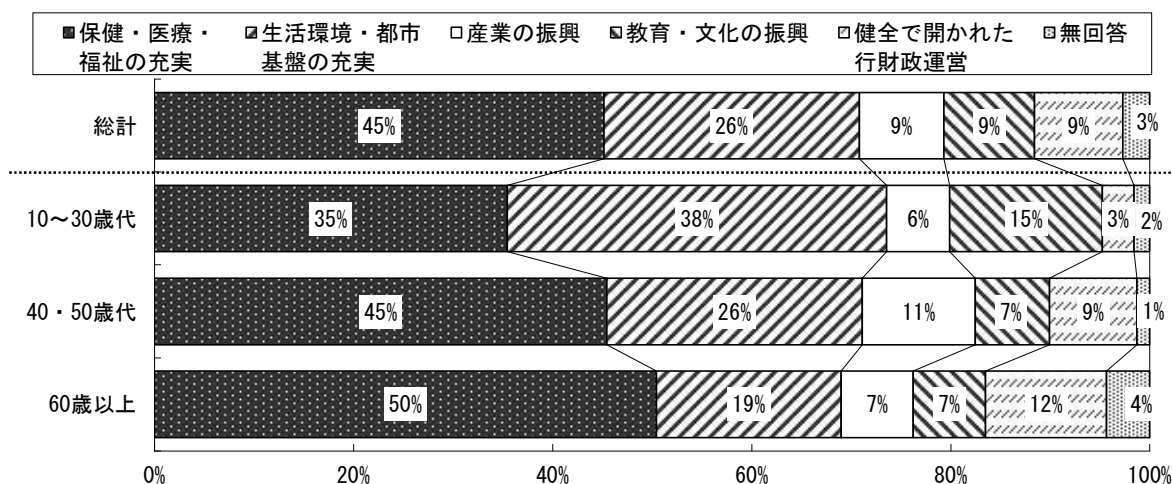
	総計		10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
保健・医療・福祉の充実	129	37%	38	39%	41	35%	49	38%
生活環境・都市基盤の充実	109	31%	31	32%	41	35%	36	28%
産業の振興	33	9%	9	9%	9	8%	14	11%
教育・文化の振興	33	9%	14	14%	13	11%	6	5%
健全で開かれた行財政運営	43	12%	5	5%	14	12%	23	18%
無回答	2	1%	0	0%	0	0%	2	2%
合計	349	100%	97	100%	118	100%	130	100%

優先すべき施策分野は、「保健・医療・福祉の充実」が 37%、「生活環境・都市基盤の充実」が 31%などとなっています。令和2年調査と比較すると、「生活環境・都市基盤の充実」の割合が高まっており、特に「40・50 歳代」と「60 歳以上」でその傾向が強くみられます。

【令和7年調査】



【令和2年調査】



第9章 自由意見

問 18 村政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので、お書きください。

問 18 は、156 件の意見・要望をいただきました。

〔意見の内容〕

1 産業振興・活性化に関すること

▽大玉村商品券のさらなる活用。〔10・20 歳代女性〕

▽米農家、不安を解消する支援を今年から早急にお願いします。〔40 歳代男性〕

▽車を持たない世代も多くなると思います。そう考えたときに生活する上で必要な物を手軽に購入する、できるところがありません。高齢者の方が住みよい地域にもしてください。子供世代と一緒に生活することはできなくても、心配事が皆さんあると思います。安全なものをできる限り安価に手に入れることが出来るお店があれば高齢者も子育て世代も住みよいと感じるのではないのでしょうか。〔40 歳代女性〕

▽立地条件は良いので、スマート I C や駅の誘致を進め、農業地区と産業地区と移住地区と区分できるような村づくりを実施してもらいたい。〔50 歳代男性〕

▽アットホームの再構築。もったいない。〔50 歳代男性〕

▽スマート農業の支援及び導入。村の自給自足率の推進。〔50 歳代男性〕

▽村から農業がなくなることはあってはならないと思う。形や方法は変わっても米作り、野菜作りを誇れる村として自立して行きたい。若者の農業離れが進まないよう、農業に魅力を感じてもらえる施策を期待する。奨励金とかいう一過性のものではなく生きがいややりがいを提供できないか。〔60 歳代男性〕

▽総合復興計画は 10 ヶ年度の計画であるため総花的な内容となっており、その性格上、やむを得ないと思うが、役場各部、課では総合復興計画のうち何をどのようなスケジュール感（2、3 年の短期）をもって取り組んでいくかの実施計画を策定し、年度毎にその実施状況を確認して行くことが必要である。本村は住居支援金等の施策により人口増加が続いているが、今後人口減少への転換は否めない。その対応として村内で育った若者（特に女性）が大都市圏に転出しないような、多様な雇用の場の確保や関係、交流人口の増加に向けた施策を強力に進めるべき。〔60 歳代男性〕

▽村外の人に自慢できること、広々と広がる田んぼ、空の大きさ。田んぼと安達太良山がきれいに見えるところ。しかし、農作業されている田畑は、高齢化も気になります。このままで「大いなる田舎」は守られていくのでしょうか。人口が増え、財政も安定していくことは良いことと思いますが、適正な使いかたをと願います。住んでる人が、住み始めた人がずっと住んでいたいと思う村でありますように。〔60 歳代女性〕

▽大玉村は美味しいお米がとれる土地、田んぼがあります。後継者がいなく荒れてしまっ
ては残念です。そんな田畑を会社経営とし、給料として従事出来る安定性のあるものに
できれば、就職できる職業として若者にも示せるのではと思います。我が家は農家では
ないので、素人考えかもしれませんが、未来に継承して言ってほしい大玉村の誇れるも
のです〔60 歳代女性〕

▽大玉村はとてもお米がおいしいところですので、お米作りをする人を減らさないように
農家の後継者問題を考えていかなければと思います。一戸の農家だけでは大変なので、
自分の家が助けてもらったら「緒かえし」の精神で助け合いの農業ができれば良い。ぜ
ひ子供が遊べる公園の設備もお願いしたい。〔60 歳代女性〕

▽大玉村の宝物は美しい田園風景と美味しい農畜産物です。これを守るためには若い後継
者が必要です。昔から大玉村を守って来られた方々がそれを邪魔することなく応援して
いただきたいです。若い産業が増加するためには先住の方々のご協力が必要です。これ
か若い力が加わり、大玉村の宝物を未来につなげていかれるよう、私も頑張ります。〔60
歳代女性〕

▽温泉施設を常備して集客増やす。安くでもいいから利用者を多くしてみたら。〔70 歳代男
性〕

▽今後の農業復興について十分な検討をした上で進めてほしい。〔70 歳代男性〕

▽アットホームを再開してほしいです。せめて食堂だけでも。温泉に行ってもつまらない。
〔70 歳代女性〕

▽村の生活環境を整備する為に、空き家の解体費用の助成をすればいいと思う。大玉村は
基幹産業が農業で特に米は高評価を得ているが、この度、村内産福笑いについてわざわざ
「あだたらの恵み」というブランド名をつけて売り出すことに疑問を感じる。村内産
の良質米すべてを「大玉米」のブランドにすべきだと思う。農業経営のあり方について
は、村が強力に循環型経営とオリジナル商品の開発を進めるべきだと思う。あまり外部
の有識者などに頼らずに自分達で本気で考えて欲しい。マチュピチュ関係は持ち出しば
かりで村には観光面や商品販売面でもほとんどメリットがないので、見直すべきだと思
う。進学や就職で離村してしまった人でも、必ず帰って来なくなる魅力的な村づくりを
期待しています。〔70 歳代女性〕

2 健康・福祉や教育に関すること

▲スポーツやランニングができる場所を設置してほしい。〔10・20 歳代男性〕

▲無医村であることが不安（在宅での医療に力をいれてくれる医師が来てほしい）。公共交
通については利用者がいないであろう、至仕方ない部分もあると思う。大玉村＝プラン
ト5、一ヶ所しかない。4号線沿いの活用（県のほぼ中央である）。DASH村を続けてもら
えますように（番組は続くと思う）。大玉村＝DASH村となるようにご縁を切らず保ってほ
しいです。〔10・20 歳代男性〕

▲幼稚園は新規に制服かジャージを取り入れてほしい。年長組の使用する校舎を新しくし

て欲しい。〔30 歳代男性〕

▲村民プールにて、幼児の大プールへの入水が禁止になりました。その点で小3までの子供がいた場合、どちらかを我慢させるしかありません。幼児用プールに小学生と一緒に遊ばせることもやむを得ません（危険です）。保護者が一緒に入っているのに大きい方のプールに入れないのは水泳の練習の機会の損失になり、運動の機会もなくしています。理由も安全のためだというなら保護者が一緒に入っている意味はありませんし、本当の理由は排便をされると水の入れ替えに時間とお金がかかるということです。しかも少数の人の一存だということも耳に入りました。これまで幼児にオムツが取れるまで我慢させ、トイレトレーニングを頑張ってきたのに、子供への裏切りをしているようで本当に残念です。どこまで話しあったのか、決定するにしても村民の声を良く取り入れるべきです。〔30 歳代女性〕

▲子育てするなら大玉村、と聞くことがよくあります。今後子供の数も増えていくと願っています。村にも給食センターを作り、子供達に美味しい給食を食べて欲しいです。自然が多いのも玉村の魅力的なところ。自然を保護しつつ人口も増やしてほしいです。派手な村ではなく住みやすく居心地の良い村のままでいて欲しいです。〔30 歳代女性〕

▲子供が3人いますが、大玉村は子育て支援が充実しており、子育てしやすいと感じています。子供が思いっきり遊べるような公園などがあれば嬉しいし、利用すると思います。〔30 歳代女性〕

▲子供の「教育」に力を入れることが、将来的に村の発展につながる重要な取り組みだと考えています。この村で教育を受け、村外に出て経験を積み、その後再び村に戻ってきて活躍する。そうした「人材の循環」の仕組みがあれば、村全体がブラッシュアップされ活力ある地域になると思います。〔40 歳代男性〕

▲子どもがいない家庭にも何かしてもらえるとうれしいです。子どもが独立して夫婦2人担った家庭ではなく、子どもがいない夫婦のみしかいない家庭。〔40 歳代男性〕

▲高齢者への支援を充実してほしい〔40 歳代男性〕

▲健康維持のため、スポーツジム施設を充実させてほしい。〔40 歳代男性〕

▲人口も増え、まわりからも子育てしやすいところ、と褒められます。が…子供たちが遊ぶ公園やスポーツをする体育館や住民が使用できる場所がもっと充実していればと思う。せっかく自然豊かなところなので、それを生かしたものが増えればと思います。また特に玉井は通学路に歩道が無い所が多い為、その辺も改善されればと思います〔40 歳代女性〕

▲人口増加が続いているのに、医療は近隣の市町村に頼り切っていると思う。特に子どもの救急などは郡山など遠くに行かないと見てもらえない場合がある。〔40 歳代女性〕

▲子育て支援の中ですが、これから大山小横に建設予定の施設はとても嬉しく、そのような学校から行ける、寄れるところに（子供自身が）、力を入れてもらいたい。また休日の外のトイレがないのが不便です。そとのあそび場にどこにもバスケットゴールがないですが、子供はどんなスポーツでも興味があり、みんなが手を出せるところにそういう

準備をしていただけると嬉しいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。〔40 歳代女性〕

▲大玉村に移住し約4か月になります。子育て支援に力を入れていると耳にはしますが…子供達が遊べる公園施設が不十分。又、小児科などの施設も村内に無く、子を持つ親としてとても不便だなと感じます。安心して遊べる公園が欲しいです。〔40 歳代女性〕

▲大玉村に住むということは、田んぼがあり、草刈り機が朝早くから使用され、カエルが鳴くところに住むということだと理解してもらうため、ハウスメーカーの方には、大玉に家を建てるにあたって説明してもらったらいいいと思う。子育て世代が増えるということとは、幼、小、中に通うということ。大玉の小学校、特に玉井小はとても古く、教室数も足りなくなっている。人口増加だと、数字だけ見て喜んでもる場合ではない。教育環境がいいところを選びたいと考えている親に、大玉村を選択肢の一つに考えてもらえるように整備して欲しい。大玉学園としていろいろやっているが、学校を小中一貫として校舎を新しくすることくらいのことを考えて欲しい。学校訪問などを議員さんや村の偉い方々はしていると思うが、教室ではなく、それ以外の特別教室（特に玉井小の理科室）も見たい。あれは学習意欲をそがれる。子供が成長する時に、やはり病院が近くにあるのは助かる。二本松や本宮に行けばいいのだろうが、子供が成長し車がないと生活できない大玉村では自分が歳を重ね、運転できなくなった時を考えると、残念ながら大玉村は住みよい村ではないと思う。人によって住みよさや便利さを感じる所は違うと思うが、外部から村づくりと一緒に考えてくれる専門の方を招いてご意見いただいてはどうでしょう。〔50 歳代女性〕

▲希望ですが、ボンズアリーナのような体育館があれば大玉村に来村する機会が増えて、後々人口が増えたり大玉村の活用化が進むといいかと思いました。村民もスポーツをすることで健康寿命を伸ばして、いつまでも元気で人生を楽しめる村づくりをしていただけたらとても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。〔50 歳代女性〕

▲子供、高齢の方には支援が充実しているが、中高年が充実できる様な場所作りをしてほしいです。〔50 歳代女性〕

▲移動手段の充実。高齢者が孤立しないための施策。〔60 歳代女性〕

▲村民が優先的に入所可能な高齢者施設の誘致や、子育て世代が喜ぶような公園をプラント近くに増設すれば、もっと村の税収増益にもなると思う。〔60 歳代女性〕

▲子育ての良い村と聞いていますが、子供の遊ぶところがない。孫がいますが、二本松や宮本まで行くようにしています。保健や医療、産業も大切ですが、子供たちが楽しめる所も作って欲しいと思います。〔60 歳代女性〕

▲今一番興味がある事は終活です。数多く講座を開いてください。〔60 歳代女性〕

▲村内に病院があればと思います。〔70 歳代女性〕

▲あせる必要はないと思います。ていねいな教育に力を入れて、村を愛する子、孫世代を育て、将来をたくすことが大切と考えます〔70 歳代女性〕

▲年金生活者にとって大変な毎日ですが、これからの大玉村の将来を担う人たちの生活に

注力して頂きたい。子供を養っていくのにこの村で生活していて、はたして大丈夫なのか。心配です。〔70 歳代女性〕

3 □生活環境に関すること

- 安全に遊べる公園。雨や雪の日に遊べるキッズパークが欲しい。〔10・20 歳代女性〕
- 大玉村は公共交通機関が充実していない状態であり、自分の家からは最寄りの駅で徒歩で約 2 時間かかります。交通機関の充実は、もう少し必要だと感じる。〔10・20 歳代女性〕
- 開発して行く中でも、大玉村にしかない景観や田舎らしい風景が残るといいと思います。空き家や耕作放棄地を整理できるといいと思います。〔10・20 歳代女性〕
- 道路の面積を増やしてほしいです。〔10・20 歳代女性〕
- スマートインターチェンジを整備する前に、道路（亀裂、穴）整備、公園整備をしてください。〔10・20 歳代女性〕
- 村道の細く狭い道路を整備し、安全を確保してほしい。〔30 歳代男性〕
- 水道のミネラルが多く、水垢になるのでどうにかできないでしょうか。他の市町村はもう少し水垢がでにくい気がします。〔30 歳代男性〕
- バス等の交通機関の整備（車等使用できない人のための）。〔30 歳代男性〕
- プラントだけでなく、もう少しお店を増やしてほしいです。子供の遊び場も大玉村は少ないので、室内遊びもできるような場も作って欲しいです。2、3 区がメインのお祭りですが大玉村全域にした方がもっと盛り上がるのではと思います（出店も増やして花火をあげたり等）。〔30 歳代男性〕
- 田んぼ通りよりも東側に住んでいる中学生が、自転車で道路を横断しようとする時、クルマ通りが多いのでいつもハラハラします。横断歩道があるわけではないので、車も止まってくれないので、何か対策を行ってもらえるといいのかなと思います。〔30 歳代女性〕
- 子供が遊べる屋内遊び場が欲しい。現状本宮にいき遊んでいるので。〔30 歳代女性〕
- 高齢者が多いので、冬場の除雪を（道路だと一本入った細い道とか）やってもらったり、本宮市のように子供が遊べる場所を作って村外からお母さんと子供が来れたりするような、もっと暮らしに根付いたことをしてほしいです。〔30 歳代女性〕
- 玉井小学校の周辺を、大玉運輸のトラックが通るのが危ないとずっと思っていますし、書いています。ただでさえ歩道が狭く、カーブがとても危険だと思います。大山方面などから通行するのは無理なのではないでしょうか。〔30 歳代女性〕
- 子供がたくさん体を動かせたり、家ではなかなか購入することが難しい（木製の物等）玩具などで遊べる施設ができれば嬉しいです。出かけようとなると本宮市のウィリアムズパークやエポカ、二本松市の元気キッズパークまで行くことが多いため、移動時間などを考えると村内にあったらもう少し身近に遊びに連れて行けるので、ぜひ検討いただけたらと思います。〔30 歳代女性〕

- 図書館や公園などを大きくした方がいい。本宮市に頼りすぎです。〔30 歳代女性〕
- 新しい人への整備は理解するが、現に今住んでいる人の利用する村道もアスファルトにしてほしい。納税した使い道を考えていない。〔40 歳代男性〕
- 暑い季節になり、生ゴミの匂いや処理に困っています。生ごみ処理機を使用すると最大 95%削減することができ、ゴミを減らすことができます。生ごみ処理機を購入検討していますが、金額が高く大玉村でも助成金を出していただけたら嬉しいですよご検討お願いします。ご検討よろしく願いいたします。〔40 歳代男性〕
- 草を刈った後は、しっかり草も集めて持って行って欲しい。雑草が家の庭まで広がってしまっていて大変です。また作業する方は車の中でタバコを吸って欲しい。臭いし危ないと思ってました。定期的に草刈っていただき感謝しています。〔40 歳代女性〕
- 一番は埼玉みたく治安を悪くしないでほしい。こののんびりとした緑の多いところ景色がよく、女性 1 人で歩ける安全性の高さで郡山市から引っ越して来たのだから、安心安全の村であってほしい。村政は納めた税をきちんと村民のために使ってほしいです。〔40 歳代女性〕
- 大玉村は美しい自然があります。他の地域との差は何だろうと考えたら、特に魅力がないのいいのかなあとと思います。新しい住宅ではなく、古いものを生かし（リノベ）、田舎暮らしをしたいと思えるように、美しい自然を保ちながら便利に暮らしたいです。〔40 歳代女性〕
- ペットを飼っている人が災害等で避難しなければならなくなった場合の、避難場所をきちんと開設してほしいと思います。1 人 1 台の車社会のため、公共交通が少ないと思いますが、今後免許返納等で車がないと不便になるため、もっと土日祝も含めて増便して欲しいです。たまちゃんタクシーも便利ですが、以前のバスに戻して 1 時間に 1 本くらいのペースで利用できればと思います。〔40 歳代女性〕
- 浄化槽の維持管理が負担である（下水道化、助成金など）。住民票をコンビニで交付できるようにしてほしい。〔40 歳代女性〕
- 山間地域の交通手段の充実（継承者がいない方のため）。〔50 歳代男性〕
- 自家用車を持たない高齢者等の買い物のため、プラントへの行く交通手段を検討してください。〔50 歳代男性〕
- 生活道路の補正、補修、騒音。水路にて改善なく（相談済）、悲しい。〔50 歳代男性〕
- 公共交通機関（バス）を取り入れてください〔50 歳代男性〕
- 問 17 に関連して、住宅地を増やすよりも外灯をもっと増やしてほしい。J A スタンド横から田んぼ通りに抜ける道をもう少し広げて欲しい。仕方がないのは分かるが下水道料金が安い。これからの時代、農業はますます重要になっていくと思うので、支援や農地の保全を重視し、せつかくの美しい景観を守ってそれを大玉の売りにして欲しい。〔50 歳代男性〕
- 駅への交通手段がマイカー頼りになっている。デマンドタクシーも利用しやすいとは言

えない。高校生や大学生のための通学方法を色々と改善してほしい。デマンドタクシーの拡充。駅への図書館、待合所の設置など。朝6時から夜10時ぐらいまで利用できるようなものを。〔50 歳代男性〕

□とても住みやすい村ですが、駅が遠いので子供を高校に通わせるのにとっても大変でした。高速道路のインターチェンジも近くにあれば嬉しい。村のイベント、フリーマーケットやマルシェ等、キャラクター、子供たちが喜ぶようなイベントがあれば遠くまで行かなくても遊べる場所があればいいと思う。もっと気軽にスポーツに参加できる時間や場所があればいい。事故の多い場所は信号をつけたり、夜電灯をつけたりして欲しい。車のスピードが怖い。家のすぐそばで野焼している人に注意してほしい。近所なので言えない。〔50 歳代女性〕

□防災ラジオを無償で貸与してほしい。前に住んでいたところはアパートでも防災ラジオがありました。一戸建てはあるのかわかりませんが、必要性を感じます。「野の花おりおり」の本はいらないので、防災に力を入れてほしいです。〔50 歳代女性〕

□学校周辺にはたくさんの街灯があるが、学校から5キロ離れた場所だと、街灯がない（全体的に大玉村は夜が暗い）。〔50 歳代女性〕

□公衆トイレの設置。みずいろ公園のような遊具のある公園。〔50 歳代女性〕

□あづま運動公園や逢瀬公園のような、ピクニックやペットと散歩がゆっくりできる大きな公園を作って欲しい。〔50 歳代女性〕

□公共の場所の草刈りは、地域の一部の人たちだけでなく、地域全体がやるべきで、自分の近くは自分がするべきみたいなことでは絶対おかしい。地域の責任者は本当に本当に考えて欲しいです。何十年も自分の庭のような草刈り。もう疲れました。1区とか2区とかで区によって集会所等で集まりがあるのですが、年齢的に大変な人たちもいます。年齢のことなども考えて、住みやすい大玉村にしてほしいです。土地が空いているようなところがあったら呼びかけて人数を増やすこともいいのでは。〔50 歳代性別無回答〕

□組に入ることを前提に、ゴミ置き場利用というのはおかしい。組に入らなくても所定の場所（近く）にゴミを捨てられるようにしてほしい。組に入るのが煩わしい。そういう制度をなくしてほしい〔60 歳代男性〕

□村内道路網の整備、大型トラックが安全に運行できるよう道路増員の拡充。〔60 歳代男性〕

□玉井小学校への通学路の歩道の整備。歩道が狭いため子供達の安全が心配〔60 歳代男性〕

□農地を住宅整備のために造成し、人口を増やすのはいろんな面で大切なことかもしれないが、数十年後にそこに建てた住宅が空家になってしまうかもしれない、と思うのでせっかく美味しい米で有名な大玉村なので、田んぼが減ってしまうのはどうかと思います。今住んでいる地域も跡取りする方がいないので自分の代で終わりと言っている方も多し、すでに空き家になっているところもある。目先だけを見ず何年後か先の大玉村の姿も良く見てほしい。〔60 歳代男性〕

□松の木の枯れているのが目立ちます。10 年位前は消毒、伐採等行っていましたが、現在

は松の木がなくなる一方です。松の木対策何とかありませんか。このままでは何年か後にはなくなってしまいます。〔60 歳代女性〕

□小さな子供たちが遊べる公園があると良いかと思います。〔60 歳代女性〕

□朝、夕方、犬を散歩する人がいますが犬の糞が道のわきとか、人が通るところにあり困っています。夜街灯がある道だったらいいんですが、無い場所を通る時くらいので通らぶらいです。〔60 歳代女性〕

□子供達の遊び場がないので、雨の日、雪の日にも過ごす事が出来る所が欲しいです。だれでもがお茶できる場所があったらいいですね。外の周りは花畑にしていやされる場所が欲しいです。〔60 歳代女性〕

□村道の草が気になります。美しい村ですので綺麗にしたいものですね。クリーンアップですが草刈機のない人、ある人、色々ですが高齢者の方は大変かと思います。年齢制限決めた方が良いのでは。〔70 歳代女性〕

4 ◆複数の分野に関すること

◆幼児教育（幼稚園）を改善してほしい。小学校で落ち着きのない子供が多い。集中力がない。大玉村の自然を生かした公園やアスレチック施設等があるといい。村民および村外からも利用できる屋内施設（子供の遊べる施設がない）県民の森の方ではなくもう少し身近なところに作ってほしい。〔10・20 歳代女性〕

◆発展も大事だと思いますが、大玉村のあだたら山を背にする村の景観、田園風景は大切にして行きたいところだと思います。他の市町村の方からは、村の福祉や教育について支援があるところが利点として受け入れられていますので、大事にしていってほしいです。買い物に行く際の村道が凸凹していました。車がよく通る場所で気になっていたところが、道路整備が始まるようで嬉しいです。子供が集まって遊べる公園があればなお良いと思います（大山、玉井それぞれの中心あたり）。〔10・20 歳代女性〕

◆遊具等が充実した公園の設置。外灯を増やしてほしい。田んぼアート等、田畑を利用した観光復興。東邦銀行 A T M の設置。〔30 歳代男性〕

◆村民プールの利用を増やすため新しくして欲しい。プールを利用するのに村外を現在通っている。高速道路（スマート I C）ができるととても助かります。〔30 歳代男性〕

◆消防団のあり方。人はいるが、入団しない。幽霊団員が多い。生活、仕事の多様化が原因。根本的な対策が必要だと思う。10 年もしないうちに米農家がだいぶ減ると思う。新規就農も考えているが、資金、人材的に難しいのが現実。人材も減れば技術も失われます。力になりたいが、兼業農家では限界がある。部活動の地域移行。競技によって協力できる人材に大きく差がある。指導についての色々なことも勉強が必要。勝利至上主義になるところも出る（楽しみたい子供が置き去りに）。若い人材が協力できるか。土日、平日、夕方では仕事をしていると厳しい。〔30 歳代男性〕

◆インターチェンジは車での利用を考え 10 k m 毎に設置されているものに対し、駅は歩行者を前提としているため 3 k m ～ 4 k m 間が多いと思う。村の立地を考えると駅の方が有

効では、と思う。また小学校のスクールバスの基準が距離でないことに驚いた。幼稚園ではバスで安心して送ってもらえたが、小学校では対象外のため本当に驚いた。追伸、このようなアンケートはOCRの紙かインターネット回答を準備すると楽ですよ。〔30 歳代男性〕

- ◆子供が自転車に乗ってもいい場所があればいいのと思う〔30 歳代女性〕
- ◆子供が遊べる施設が少ない。下の子が産まれると、退所させられる保育園の仕組みを変えて欲しい。空き家が多い。空き家バンクなどうまく進めるべきだと思う。草刈りなど道路（近隣の人しか通らないような細い道）の整備。役場の土日営業。〔30 歳代女性〕
- ◆外国の方に土地を売らないでほしい。ソーラーパネル等で村の景観を破壊しないでほしい。村民が必要なら仕方がないが、観光だけのためにスマートインターチェンジを作る必要があるのか…。備蓄米が小学校給食の事業者へ渡るとの話もあるが、大玉の給食は大丈夫か。〔30 歳代女性〕
- ◆学校行事カレンダー、村関係の書籍、希望者のみ配布。マチュピチュ関係事業の一時停止。誰得？ 直売所に大きな桜の木を植樹。移住者希望者に使っていない集会所を開放し、お試し移住体験をする。〔30 歳代女性〕
- ◆駅が欲しい。接骨院は多いけど病院が無くて不便。プラントに調剤薬局があるなら近辺に病院を建てればいいのと思う。長井坂で雪による立ち往生する車を2台ほど見かけた。2WDだった様子。注意喚起の看板があったら良さそう。幼稚園から中学校の制服について、買い換え等で途中で呉服店で買うならさくらカードにポイントつけてもらえるのに、入学時で買う時には高額なのになにも還元がないから、商品券とか付けて欲しい。小中学生は横断歩道の渡り方はとても良いのに道なりに歩くマナーは悪い。学校近辺の細い道ほど歩き方が悪い。バスとか大型車も通るのでとても危ないと思う。中学生にもスクールバスやワゴンが欲しい。平日と長期休みにも利用したい。夏は熱中症、冬は路面凍結による転倒の心配がある。事故が起きやすい所が改善されて頻度が減った気はするけど、まだ事故は起きている。そもそもその現場で一時停止しない車を不定期で見かける。もっと強めの改善が欲しいと思う。〔30 歳代女性〕
- ◆明確なビジョンを作る（様々な方法で）。交通量の多い昔からある道路の再整備。〔40 歳代男性〕
- ◆幼稚園の給食提供は進めてほしい。農地の整備など有料で手伝ってくれる人や事業者を紹介できるようにしてほしい（農業者は高齢化で草刈りや整備などが難しい状態になっているので）。〔40 歳代女性〕
- ◆子育て支援などにもっと力を入れてほしい。交通の便利がもっと良くなるといい。〔40 歳代女性〕
- ◆病院（診療所でもよい）が無いので不便。小、中学生が買い物できるお店があるとよい。役場職員で、草刈りに参加しない方もいるので積極的に参加してほしい。子ども達が真夏でも過ごせる室内の場所がほしい。人口が増えてきたので危険な場所や事故が起きやすい場所に信号機をつけてほしい。子ども達が使用している、たまちゃんバスはとてもありがたい。部活の遠征など非常に助かっています。〔40 歳代女性〕

- ◆人口が増えることは喜ばしいことかもしれないが、それに伴い、病院や公園等も増やすべきだと思う。道路が狭い。村の人は新しく来た人をあまり歓迎していない雰囲気がある。子どものあそび場がない。病院も無い（クリニックタウン必要）。村役場のゴミ捨て場の駐車場をいつも開けていて欲しい。選挙のときのように車移動させてほしい。〔50 歳代男性〕
- ◆証明書のコンビニ交付が出来るようにしてほしい。子どもの健診（6 ヶ月、5 歳児）など、年齢、月齢が来たらすぐやってほしい。子育て支援は大切だが、全部無料はどうか。住民税が高くなっている。〔50 歳代男性〕
- ◆働きざかり世代にも何か還元して欲しい。一年に一度この村では何か貰えるとか、還元してくれるとなれば、長く住みたいと思う。50 歳以上は毎日脳ドックを安く受けられるとか。周りに新築が立っているが、中学校の前とか見通しが悪くなってきた。道路を広く確保してから、住宅などを建てて欲しい。子供の安全を無視している。4 号線の信号が多い（本宮～二本松）。毎日この渋滞には迷惑を感じている。高速道路などの通行止めの時などに困っています。老後、車の運転をやめた場合、どのように生活していけるのかが心配です。都市などに移った方が良いのかと最近は考えるようになった。働きながら介護ができるのかが不安。ゴミを燃やしている方が多い。法律で禁止されていますよね。〔50 歳代女性〕
- ◆農業支援を手厚くしてほしい（構造改善とか）。最近村道にゴミが捨てられていることが多くなりました。注意を促してほしい。〔50 歳代性別無回答〕
- ◆スマートインターチェンジで大玉村の負担がどの程度かわからない。誰が誘致したのか。アットホームは元に戻してほしい。文化交流、マチュピチュ、村 10 名は多い。4～5 名位でいいのでは。〔60 歳代男性〕
- ◆村内に各医療機関を設置し受診がスムーズにできる。村内に親、子供が楽しく過ごせる公園や遊戯場的なところがあっても良いか。〔60 歳代男性〕
- ◆公共交通機関が整備されていない村なので、年を重ねたときに（運転免許証を返納したときに）生活に不安を感じます。組内で問題が起こった時に役場が問題を組に丸投げしているように感じます。責任を持って役場が問題に取り組んでほしいと思います。〔60 歳代女性〕
- ◆スマートチェンジがなぜ必要なのかわかりません。我が家は下水道を利用していますが、下水道を利用していない家に対して要請をしているのか。地区の組に入らない人、または抜けている人が多い（組に入らないとお金を払わなくてもいい）これは不公平である。マチュピチュに対してもお金をかけすぎると思う。〔60 歳代女性〕
- ◆村道および生活道路の整備促進を図って欲しい。耕作放棄地等を活用し移住希望者の事業推進。イノシシ（鳥獣）対策の強化を図ってほしい。スポーツの強化を図る（健康づくりのために）。〔70 歳代男性〕
- ◆郡山、福島病院に行く時、運転できないときはタクシー代の割引券があるといいです。大玉村にコストコを作って欲しい。〔70 歳代女性〕

- ◆病院を作る。子供が安心して遊べる場所。直売所の広場の有効活用。老人の引きこもり対策。アットホーム村民の活用。もっと活用してほしいのでその対策。〔70 歳代女性〕

5 行財政運営・むらづくりに関すること

- 本当に何でもいいので、これが強みっていう事がらを作るべきだと思う。交通面、教育、文化どれも不満はないですが、突出したものはないのでいろんなことに手を出すのもいいですが、一つ一つ丁寧にやっていき、何か一つではなくそれらを結合させ最強の村への一歩を踏み出せるように、強み作りを頑張ってください。たまちゃんのグッズをください。大好きです。〔10・20 歳代男性〕
- 村に住み続け、仕事に就こうと考えていますが、村に恩返しのつもりで就職しようとしてもなかなか仕事がありません。実力なのか、コネなのか、わからない。公務員試験もやる理由があるのかわかりません。勉強をして万全に準備をして試験に望む人もたくさんいる中、まだまだこれからもずっとコネ入職が続くようでは、大玉村に住み続けてるメリットがあるか考えてしまう。一般人に対しても平等な行政でなければ、地域からの移住者にだけメリットがある大玉村になってしまうと思います。今もこれからも大玉村にすみつづける村民が幸せになれるように願ってます。〔10・20 歳代女性〕
- 大玉村にはいつもお世話になっております。私は県内からの移住でしたので住宅の支援金が 40 万（県外からは 80 万）でしたが、県外に住んでいても、一度福島県内に住民票を置いてしまうと 80 万の支給がなくなると聞いて、少しもったいないと感じてしまいました。大学進学や転勤を機に移住する人はとても多いので、あともう少し条件を緩めていただけると移住者が増えるのではないのでしょうか。〔10・20 歳代女性〕
- こういうアンケートを紙ではなく、ネットを使ったほうが若い人は答えやすいし、人件費の削減になると思う。集計が楽になる。アンケートに QR コードを貼って、高齢者、若い人が紙かネットで回答するのを選択できるようにした方がいい。〔10・20 歳代女性〕
- 大玉村の景観を損ねないような村づくりをしてほしいと思います。〔10・20 歳代女性〕
- デジタル化を進めて欲しい。様々な案内を村の HP 上で見れるようにするとか、クリーンアップ作戦、大玉広報。ただ、お年寄りには厳しいかもしれませんが。班長とか組長とかいずれ回ってくるが、何をどうしたらいいかわからなくて不安。誰に聞いていいかも分からない。若い世代が多く住み始めているため、村として何か会などをひらいてほしい。班長、組長とかのそれぞれの役割とか。このままだと抜ける人がどんどん増えてしまうと思う。〔10・20 歳代女性〕
- 浜通りの人がダメかな〔30 歳代男性〕
- 村役場を新しくして頂きたいです。〔30 歳代男性〕
- 物価高対策を村独自でも行ってほしい。小学生の下校時刻が猛暑でかわいそう。熱中症対策を考えて対処して欲しい。〔30 歳代男性〕
- 住民票等がコンビニで取れるようになってほしい。防犯灯が切れていることを役場に伝えても、点灯するのに数週間もかかっているので伝えたら早めにつくようにしてほしい。

〔30 歳代男性〕

- 未来を創る子供達を大切に、今いる私たちがより住みやすい環境をつくり残して行きたい。子供たちが大人になっても大玉村を大切にしたいと考えていけるよう村づくりを考えていただきたいと思います。〔30 歳代女性〕
- だいぶ住みやすくなってきたが、昔からの地域の奉仕作業や集まりが多い。今の時代に合わせて活動も少なく、また参加できない場合も休みやすい状況を作って欲しい。地域の繋がりが強過ぎるのも大変と思っている周囲（同年代）多いです。〔30 歳代女性〕
- 村政で何に一番注力してるのか知りません。以前は郡山市に住んでおり月に一度広報誌がありましたが、大玉村ではないのでしょうか。大玉村でいつ、どんなイベントを、どこでやる等も知りません。なのでこのアンケート自体よくわからない質問が多かったです。そんな人に対して村の内容をもっと知ってもらう活動して欲しいです。〔30 歳代女性〕
- 今集まってきている人は、今の村が良いから来ているのだと思います。時代に合わせた行政の変化は必要ですが、他の町と同じような都市化をしても、大玉村である意味がなくなり、今度は人が減っていくことになりかねないのではと、ふと思いました。〔30 歳代女性〕
- 住民票の写しなどの証明書をコンビニで取得できるようにしてほしい。休日窓口サービスがないので、平日にわざわざ有休を取って証明書の取得のために休みたくない。子育て世代は子供の行事や病気などで有給消化してしまうので。〔30 歳代女性〕
- 回覧の紙代がもったいないので希望者のみ紙配布で、他は「ホームページに載せてます」で良いかと思います。誰さんが取ってないとかで二度手間です。〔30 歳代女性〕
- 大いなる田舎はどこへいった。日本一美しい村づくりはどこへ。これは中途半端な田舎だべ。しっかりしろ。〔30 歳代性別その他〕
- 住民税が高い〔40 歳代男性〕
- 自然が多いところに住みたくて移住してきたので、あまり開発して欲しくない。農地を維持する人材をまず誘致するのが良いと思う。DASH村で有名になったり、スマートインターチェンジ等、個人的にはあまり歓迎しない。〔40 歳代女性〕
- 農地や景観を保全しながら、住宅整備を進めていく。〔40 歳代女性〕
- 新しく家をたてて人口が増えているのに、村の活動に参加していない人多すぎる。役場でも新しい住民に対して参加をすすめていない。進めていった方が良いと思う。〔40 歳代女性〕
- 大玉村の良さは農村のおだやかさにあると考える。農業を主とした地域故のものだと思うが、昨今新しく居を構える方が増えるにつれ、基本的なマナーの低下がうかがえる。マナーについては、時代的背景、価値観などに左右されやすく流動的なものもあることから、古来からの文化や年齢に関係なく、教育の分野にてアプローチしていくことが、より浸透し易いのではないかと思う。具体的には、図書室を図書館としたオープンスペース、カフェの併設などがあれば、大玉村の文化を学びつつ、交流の場にも使えるのではないかと思う。別件として、診療所を誘致願います。〔40 歳代女性〕

- 若い世代、子供が増えても、成人して外（村外）に出てしまっただけでは結局人口増にはつながらないため、子供、お年寄りだけでなく若い世代にも魅力のある村になるよう村づくりをしていくことも必要ではないかと思います。〔40 歳代女性〕
- 村政を考える前に役場内の雰囲気を変えるべきだと思う。でなければ村政など代わるはずが無い。村民が訪ねても知らん顔。無視。意見を聞く姿勢が感じられない。用事があって行ってるのだからすぐに席を立つくらいの姿勢を見せて欲しい。一般の会社であれば失態とみなされる事象である。〔50 歳代男性〕
- 住民の健康増進は大切なことであり、過大な飲酒や喫煙はそのことの阻害事項である。飲酒、喫煙の自由は認めつつ、それを望まない人まで巻き込むことは、健康増進に反し許されることではないと思う。村施設だけではなく公共機関での飲酒、喫煙の規制を厳格に進めてほしい（役所警察消防庁舎内は絶対に）。村施設は勿論だが、安達広域行政組合についても管理の一員を任う村が助言してほしい。〔50 歳代男性〕
- まず、村長含め村役場職員は根本として公僕であることをしっかり認識すべきである。あなた方は生産性のない立場であること、企業等や住民の税金で生活させてもらっているということを忘れていないか。ボーナスも民間より先にもらうこと、中小企業よりも多いのがおかしいと感じないことが問題。何か事を起こす時、財源を考えるなら職員（議員含め）の給与を減らして生み出すもの。民間企業（生産性のある職業）はここにメスを入れるもの。自分たちの削らずに物事を考えるのは間違い。今の住宅整備ではなく 20 年、30 年後生活していけるかを考えていくのが行政。民間企業も今重視しているのは BCP（事業継続）。村もしっかり継続していけるのか。人間は歳をいけるもの。20 年、30 年後は車にも乗れなくなるかもしれない。そのとき生活できる基盤を今から考えること。〔50 歳代男性〕
- 保守的な年代がまだまだ多いので、余所者扱いされ生きづらい人もいる。クリーンアップ作戦等、強制作業もあり、欠席者は罰金を取られるなど時代遅れも甚だしいし都会人には厳しいかも。基本、人に優しい笑顔溢れる生活を送れる村であることに尽きます。単なる郡山市のベッドタウンにならないためにも〔60 歳代男性〕
- 箱物行政を進めると、必ず維持管理費が村の行政を圧迫することになる。特に大山幼稚園脇に作る予定の施設規模の大きさに不安が残る。住民税だけで村の予算の半分もまかなえていない財政規模で、国庫負担に頼る一般会計では将来に不安が残る。村も施設マネジメント課もしくは係でも作り、施設稼働や必要性を吟味し、予約執行を図っていただきたい。村長や議員に付度するような行政運営だけはしないことを願う。〔60 歳代男性〕
- 良い方向になっていて、いい村と思う。〔60 歳代男性〕
- 有能な職員の採用。〔60 歳代男性〕
- 大玉村はとても住みよい村だと思います。この先もずっと住みよい村であって欲しいです。〔60 歳代男性〕
- 問いに対して、回答はどこかのサンプルを使用しているのですか？ マーカー式にしてはどうですか（マークシート）。スマホで回答してはどうですか。〔60 歳代男性〕

○村民から信頼される行政であって欲しいと願います。〔60 歳代男性〕

○部落に属さない村民の問題はいかに。〔60 歳代男性〕

○村の職員の皆様が明るく、元気になるのが何より大事です。無理のない村政を望みます。大いなる田舎と誇れるように、目先の利益にとらわれない、自然との共生を大事にする村政に期待します。〔60 歳代男性〕

○嫁いで 38 年位。大玉村は農村地域、この自然の環境が人間性を作っていると思います。町で育った私が感じるのは、この感性、感覚の違いです。ぜひ自然を感じて生活できる都市計画をお願いします。役所の皆様ご苦労様です。〔60 歳代女性〕

○これからも村民の声を隅々まで聴いて村政に生かしてもらいたいと思います。よろしくお願いします。〔60 歳代女性〕

○若い世代が転入、人口も増えているが、この世代の方々が高齢となった時、先々の展望を見据えた政策。〔60 歳代女性〕

○私はもともと他市町村に住んでいて、こちらには 30 年ほど前に家を建てました。マイペースで住めるところでいいところだと思い、村政はこのままでいいと思っていましたが、最近、新情報をいろいろと聞き、驚きました。いいところばかりではないと。多分、他の移り住んだ人たちも、自分からは村政に目や耳を向けようとしていないと思います。私も自分の無関心を反省せずにはいられません。村の出来事、いろんな人の考え方がもっとよくわかるようできたらいいと思います。〔60 歳代女性〕

○人口も増え、子供の数も県内でも多い地域となってきましたが、新しい皆さんは、地域ごとの部落活動などにまったく参加せず、クリーン作戦など住んでいる者皆でやるべき事を、今までの住民がしているだけ。新しく住宅ができてみだれが住んでいるのかもわからないです。助け合いなど考えられないと思い老後は不安に感じています。〔60 歳代女性〕

○新しい人々が大玉村に夢を持って、家を建てて集まってくることは良いことなのですが、まずは区、組に入って地域に根ざしてほしいと思います。しかし、その入会金が 2～3 万円と高く、年に 8～9 回ほどある清掃作業に出られず、反則金も払わなくてはいけません。それがいやで入会しなかったり、区、組からぬける人も多くなっていると聞きました。それに 70 才過ぎた世代は、作業が免除されることになっています。これではあと 5～6 年で作業できる人々は半減すると思います。生活環境の悪化すると思います。村外の人々の定住化を進める際、村で区、組に入ることを進め、その入会金、区、組費を補助することを考えてほしいと思います。健全なる地域社会が運営されるよう推進して欲しいです。〔60 歳代女性〕

○アットホーム大玉やふれあい村民の森などの利用が増えるような、運営の方法もって考えてみたらどうでしょう。すばらしい施設があっても人が集まらないので意味がありません。どうしたら人が集うのか、どこに問題があるのか見極め、造っただけのものにならないよう考えてほしい。〔60 歳代女性〕

○村の中心部ばかり進み、まずは道路を全体的、村内の道路が広くならないと何にしても

改善にならないと思う。マチュピチュばかり。スマートインターとか、村長は、村税を使っている前に、もっと、中心部ばかりに力を入れないで、村内のために、と思う。病院すらなく、お金の使い道に納得がいかない。現村長の考えがきれいごとばかりで、もっと身近に村内のことを考えてほしい。村内隅々をよく見て、中山間部地域にも、交通の利便性にも目を向けてほしいです。村外へアピールする村政を重視する前に、そんな村内、村民へもっと目を向けるべきです。〔70 歳代男性〕

○今後、人口の減少は進むと考えられます。大玉村は、村として家の新築に対して土地確保などに無策に感じられます。建設課などが中心になって、土地確保など新築に力を入れるべきと考えます。1 年に 50 軒以上を目標に増加させるべきです。〔70 歳代男性〕

○住宅がたくさんできているが、大山等にはコンビニがあるが、玉井地域にはありません。玉井地区ばかり商業の空洞化が目立ちます。本宮市の白沢地区の山の中にもコンビニがあるのに、玉井の住宅地にコンビニもお店も無いのは変です。移動販売があるといいますが、委託している方も結構な高齢なので、売っているものの鮮度が疑われます。プラントや薬王堂があるといいますが、役場周辺に高齢者の方のための買い物や飲食店があればいいと思います。子供の通学路のため、防犯にも通学路の商業化は大切です（コンビニ等の設置）。そして県外の人からすれば、大玉村の存在は不明に近いです。村長様や議員の皆様は、他県のことを知らなさすぎです。住みやすい大玉村とうたっているなら、もうすこしお勉強してください。このアンケートも税金のムダ遣いです。〔70 歳代女性〕

○大玉村を良くして行くため、信頼される人材育成が必要と考えます。大玉村を足で周りへの配慮が必要だと思う。〔70 歳代女性〕

○住宅整備が進んで人口増加はいいことですが、その子供達が成長しても大玉村に住みたいと思うような村づくりを希望します。〔70 歳代女性〕

大玉村むらづくりアンケート

あなたの声をお聞かせください

住民の皆様には、日頃より村政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大玉村では、「小さくても輝く 大いなる田舎」をキャッチフレーズに「第五次総合振興計画」(令和3～12年度)に基づきむらづくりを進めていますが、現在、「第五次総合振興計画 後期基本計画」(令和8～12年度)の策定にむけた準備を進めています。

計画策定にあたっては、まず、住民の皆様のご意見をお聞きすることが重要だと考え、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

この調査票は、住民基本台帳から無作為に抽出した満16歳以上の1,000人の方にお送りしております。長期的な村の方向性を定める重要な計画ですので、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご回答下さいますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理し、村政運営以外の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入いただきますようお願いいたします。

令和7年6月

大玉村長 押山利一

記入にあたってのお願い

- 1 この調査には、ご本人による記入が難しい場合をのぞき、必ず宛名のご本人がご記入ください。
- 2 ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- 3 ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで○印をつけてください。
 - 回答の○の数は、【○は1つだけ】、【○はいくつでも】などと指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にない場合は、「その他（ ）」を選び、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

この調査票をご記入いただきましたら、無記名のまま、同封の返信用封筒で7月7日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

※この調査票についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

大玉村役場企画財政課 電話 0243-24-8136(直通) F A X 0243-48-3137
Eメール kikaku@vill.otama.fukushima.jp

●あなた自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。【〇は1つだけ】

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 あなたの年齢はどの区分に該当しますか。【〇は1つだけ】

1 10・20歳代	4 50歳代	7 80歳以上
2 30歳代	5 60歳代	
3 40歳代	6 70歳代	

問3 あなたの職業はどれですか。【〇は1つだけ】

自 営	1 農林水産業	3 建設業
	2 製造業	4 商業・サービス業等
お 勤 め	5 農林水産業	8 商業・サービス業等
	6 製造業	9 公務員・団体職員
	7 建設業	
そ の 他	10 主婦（パートタイムを含む）	
	11 無職	12 学生・その他

問4 あなたは、村に住んで通算何年くらいになりますか。【〇は1つだけ】

1 5年未満	2 5～14年	3 15～29年	4 30年以上
--------	---------	----------	---------

問5 あなたの家族に次の方がいらっしゃいますか。【〇はいくつでも】

1 小学校入学前の息子・娘がいる
2 中学生以下の息子・娘がいる
3 あなたが介護をしている同居の家族がいる
4 あなたが通いで介護をしている家族がいる

●村の住みよさについて

問6 あなたは、大玉村を「住みよい」と感じていますか。【〇は1つだけ】

1 住みよい	2 まあまあ住みよい
3 あまり住みよくない	4 住みにくい

問7 あなたは、今後も大玉村に住み続けたいとお考えですか。次の中から選んでください。
【〇は1つだけ】

1 一生住み続けるつもりである
2 ある程度住み続けるつもりである
3 県内のどこかへ移転するつもりである
4 県外のどこかへ移転するつもりである
5 どちらともいえない

問8 あなたは、大玉村の生活環境やむらづくりの現状についてどのように感じていますか。
項目ごとに該当する1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

		満 足	やや 満 足	い え な い ど ち ら と も	やや 不 満	不 満
		丸をつける				
【例】	(1)保健（健診・健康講座など）	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(1)保健（健診・健康講座など）	1	2	3	4	5
	(2)医療	1	2	3	4	5
	(3)高齢者への介護・福祉	1	2	3	4	5
	(4)障害者への支援	1	2	3	4	5
	(5)子育て支援	1	2	3	4	5
生活環境	(6)公園	1	2	3	4	5
	(7)道路整備	1	2	3	4	5
	(8)公共交通	1	2	3	4	5
	(9)水道	1	2	3	4	5
	(10)下水道	1	2	3	4	5
	(11)ごみ収集・処理	1	2	3	4	5
	(12)公害防止（騒音・振動など）	1	2	3	4	5
	(13)消防・防災	1	2	3	4	5
	(14)交通安全	1	2	3	4	5
	(15)治安	1	2	3	4	5
産業振興	(16)農林業振興	1	2	3	4	5
	(17)製造業（工業）振興	1	2	3	4	5
	(18)建設業振興	1	2	3	4	5
	(19)商業振興	1	2	3	4	5
	(20)観光振興	1	2	3	4	5
教育・文化	(21)幼稚園の教育	1	2	3	4	5
	(22)小中学校の教育	1	2	3	4	5
	(23)生涯学習環境	1	2	3	4	5
	(24)スポーツ振興	1	2	3	4	5
	(25)歴史・文化の保全・活用	1	2	3	4	5
むらづくり 行財政・	(26)国際交流	1	2	3	4	5
	(27)男女共同参画	1	2	3	4	5
	(28)地域の情報化	1	2	3	4	5
	(29)地域振興（コミュニティづくり）	1	2	3	4	5
	(30)行財政運営	1	2	3	4	5

●地域幸福度（Well-Being）指標について

以下の問9～11は、地域の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標化する「地域幸福度（Well-Being）指標」の設問です。Well-Being（ウェルビーイング）とは、「身体的・精神的・社会的に満たされた、幸せを感じている状態」のことをいいます。

問9 自分らしい生き方や地域の人間関係に関する次の項目について、どのように感じていますか。項目ごとに該当する1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

項 目	非常に当てはまる	ある程度当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
①同じ地区内（集落）に住む人たちを信頼できている	1	2	3	4	5
②地区内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	1	2	3	4	5
③大玉村は文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	1	2	3	4	5
④住民は、学びたいことを学べる機会がある	1	2	3	4	5
⑤住民は、やりたい仕事を見つけやすい	1	2	3	4	5
⑥住民は、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	1	2	3	4	5

問10 あなたは、日々の暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。【点数に○】

とても幸せ とても不幸										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

問11 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。【点数に○】

とても幸せ とても不幸										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

●震災復興について

問 12 大玉村の復興の進捗状況についてどのように感じていますか。以下の(1)～(5)の項目ごとの1～5の番号をそれぞれ選び○をつけてください。【○は1つずつ】

	進んでいる	どちらかというに進んでいる	どちらともいえない	どちらかというに進んでいない	進んでいない
(1) 農家への復興支援と農地除染、製品の安全管理の徹底	1	2	3	4	5
(2) 福島への、大玉への（観光やビジネスを通じた）誘客の強化	1	2	3	4	5
(3) 震災・放射線被害からの心身の健康回復	1	2	3	4	5
(4) 新しいエネルギー対策の推進	1	2	3	4	5
(5) 共生・協働による復興施策の推進とそのための国・電力会社への要望継続	1	2	3	4	5

●産業振興について

問 13 あなたは、大玉村の産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

- 1 新規就農者への支援の強化
- 2 中核的な農業者の育成
- 3 歳をとっても営農を継続できる、作業負担の少ない農業の振興
- 4 既存企業の育成（経営安定への支援など）
- 5 跡継ぎのいない商売を意欲ある若者に継承する取り組み
- 6 企業誘致を図るための情報発信や環境整備
- 7 創業への支援の強化
- 8 商品開発・ブランド化への支援の強化
- 9 有害鳥獣対策の強化
- 10 原子力災害からの復興対策の推進
- 11 自然を生かした観光の魅力の向上
- 12 エネルギー関連産業の振興
- 13 その他（具体的に： ）
- 14 特にない

●人口対策について

問 14 全国的に人口減少が進む中で、本村では人口増加を続けてきました。今後、他の市町村から大玉村に移住する方や、継続的に関わりを持つ方々を増やすために、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

- 1 結婚支援の充実（独身男女の出会いの機会づくり、経済的支援など）
- 2 子育て支援や教育環境の充実（経済的支援、施設設備など）
- 3 保健医療体制の充実（医療施設、健康づくり・相談など）
- 4 日常的な買い物や飲食ができる施設の充実
- 5 就労支援や働く場所の確保（企業誘致、就職相談など）
- 6 起業支援、新規就農支援、「6次産業化」などによる商工業・農業活性化
※「6次産業化」とは、地元農産物を加工して付加価値をつけ、多角的に販売するなど、第1次・第2次・第3次産業が連携して相乗効果を生むことです。
- 7 移住希望者向け事業や交流事業の実施（暮らし体験、移住者交流など）
- 8 魅力的な地域づくりや観光等による村への来訪者増加を図る
- 9 住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援（空家バンク、助成金など）
- 10 道路や公共交通など生活基盤・交通アクセスの充実
- 11 村のPR・情報発信の強化
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 特にない

●都市計画について

問 15 本村の国道4号沿道のJR東北本線からプラント西側の村道（宮下・高久線）までの間について、村では、本宮市方面から続く商工業地化を図りたいと考えています。このことについて、重要だと思われることを選んでください。【〇はいくつでも】

- 1 買い物に訪れたい魅力的な商業・サービス施設の立地につなげる
- 2 優良な雇用の場となる企業を誘致する
- 3 良質な住宅地を開発し、人口増につなげる
- 4 美しい景観が損なわれないよう開発・整備を行う
- 5 優良農地を保全するため、開発・整備は最小限に努める
- 6 東北道のスマートインターチェンジを整備する
- 7 大学など高等教育機関や研究施設を誘致する
- 8 その他（ _____）
- 9 わからない

1 需要がある限り、人口を減らさないよう、住宅整備を進めるべき
2 農地や景観を保全するため、住宅整備は進めるべきではない
3 その他 ()
4 どちらでもない・わからない

1 保健・医療・福祉の充実	4 教育・文化の振興
2 生活環境・都市基盤の充実	5 健全で開かれた行財政運営
3 産業の振興	

This image shows a blank sheet of white paper with five horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

53